

Part 1 基本情報

1. マダガスカルプロフィール

- (1) 正式名称 (和文) マダガスカル共和国
(英文) Republic of Madagascar
- (2) 政体 共和制
- (3) 首都 アンタナナリボ
- (4) 面積 58万7,041平方km
- (5) 人口 2,197万人(2011年)¹
- (6) 民族 マレー・インドネシア系、アフリカ系(サカラバ族、メリナ族、ベツィミサラカ族、ベツィレウ族など)
- (7) 言語 フランス語、マダガスカル語
- (8) 宗教 キリスト教(41%)、伝統宗教(52%)、イスラム教(7%)
- (9) 略史 7、8世紀ごろマレー人、インド人、アラブ人、アフリカ人が移住。17世紀メリナ族がアンドリアナ王国建設。1896年フランス領となる。1960年独立。同75年社会主義政権誕生。国名を「マダガスカル民主共和国」に変更。1992年新憲法採択、国名を「マダガスカル共和国」に変更。
- (10) 在留日本人 約121人(2011年9月現在)
- (11) 気候 冬/乾季(6~9月)と夏/雨季(10~5月)に大別される。乾季は貿易風の影響を受けて比較的涼しく、雨季は北東の風が吹いて暑くなる。首都のアンタナナリボは標高1250~1400mの高地のため、年間の気温が摂氏8~27度の間で推移し、過ごしやすい。²
- (12) 地方行政区画 従来は6つの自治州(province autonome)が存在していたが、2007年の憲法改正により、2009年10月までに州を解体し、22の県(region)を最上位の自治行政区分とする地方分権化政策が採択された。県以下の行政区分として、116郡(district)、1,548市町村(commune)、16,969区(fokontany/フクタン)が存在する。

2. 業務のための基礎データ

(1) JICA事務所の概要(マダガスカル事務所)

住所 : Villa PRADON No.32, Lot G 203, Rue RAINIZANABOLOLONA,
Antanimena, Antananarivo, 101 Madagascar
郵便物宛先 : B.P.7552 Antananarivo, Madagascar

¹米国 CIA 'The World Fact Book' より

² [参考]「外務省ホームページ-各国・地域情勢-」外務省、『最新世界各国要覧 10 訂版 2000』東京書籍

連絡先 : 国番号 :261
 市外局番 :22
 電話 :+261-20-22-300-13/ 22-300-17/ 22-300-35
 FAX :+261-20-22-300-19
 E-mail : mr_oso_rep@jica.go.jp, jicamr-ad@jica.go.jp

執務時間 :8:30 ~ 17:00 (昼休み12:00 ~ 13:30)

休日 :下記祝日と土曜日、日曜日。

1月1日	New Year Holiday(年始休暇)
1月10日	Coming of Age day(成人の日)
2月11日	National Foundation Day(建国記念日)
3月29日	Commemorative day of the 1947 Rebellion (独立運動犠牲者慰霊祭)
4月25日	Easter Monday(復活祭)
4月29日	Birthday of the last Japanese Emperor(昭和の日)
5月3日	Constitution Memorial Day(憲法記念日)
6月2日	Ascension Day(昇天祭)
6月13日	Pentecost Monday
7月18日	Marine Day(海の日)
8月15日	Assumption Monday(聖母被昇天祭)
9月23日	Autumn Day(秋分の日)
10月10日	Health and Sports Day(体育の日)
11月1日	All Saints Day(万聖祭)
12月23日	Brithday of the Present Japanese Emperior (天皇誕生日)
12月29 ~ 30日	Year End Holiday(年末休暇)

(2011年)

事務所までの交通 : (7-1「交通手段」の項も参照)

【空港から】

原則として事前に旅行代理店やインターネット等を通じ手配したレンタカー、もしくはホテルの送迎車を利用する。安全の観点から、特に日没後から日の出まではバスやタクシーの利用を避ける。

なお、空港の駐車場には公認タクシー (taxi agréé、運転手は公認タクシー証明書(仏語)を持っているので内容を十分確認する)も待機しており、料金は交渉により日中で片道約40,000 ~ 50,000MGA(約20 ~ 25USD)である。しかしながら治安の悪化により、2010年1月には夜間の公認タクシーによる凶悪犯罪被害が発生しているため、当面は昼夜を問わず、公認タクシーを含むタクシー全般の利用を避けることを強く勧める。

JICA事務所へは、運転手に「アンタニメナ地区のヴィラ・プラドン(または赤い建物)」と伝える。

〔空港以外から〕

タクシーの利用を勧める。流しのタクシーやタクシー乗り場に待機しているタクシーが利用できる。白タクもあるが、安全の問題から利用しないこと。

料金は行き先やその走行距離によって交渉しなければならないが、市内から事務所までは昼間で少なくとも2,000～5,000MGA(2～3米ドル)程度、夜間はその倍程度かかる。無線タクシーはない。

(2) JICA事務所周辺地図



(3) 日本との時差、 サマータイム

日本との時差 : -6時間
サマータイム : 実施していない。

(4) 祝日、 官公庁の休日³

祝日 :	1月1日	New Year Holiday
	3月8日	International Women's Day (female workers only)
	3月29日	Commemorative day of the 1947 Rebellion
	4月24日	Easter
	4月25日	Easter Monday
	5月1日	May day
	6月2日	Ascension
	6月12日	Pentecost
	6月13日	Pentecost Monday
	6月26日	National Independence Day
	8月15日	Assumption Day

³マダガスカル政府首相府発表 (<http://primature.gov.mg/index.php/item/1137>) より。

11月1日	All Saints Day
12月1日	Anniversary of Promulgation of 4 th Republic Day
12月25日	Christmas
(2011年)	

官公庁の休日 : 土曜日、日曜日。

- (5) ビジネスアワー
 官庁 : 9:00 ~ 17:00 (内、30分の昼休みあり: 時間は不定) (土日休み)
 銀行 : 8:00 ~ 16:00 (土日休み)
 商店 : 9:00 ~ 18:00 (日曜日はほとんどの店が休業)
- (6) 言語
 業務 : フランス語は通用するが、英語は政府・役所でも(幹部級を除き)通用しないことが多い。
 ホテル、買い物、食事 : インターナショナルホテルでは英語がかなり通用する。市場、一般商店などではマダガスカル語とフランス語である。
- (7) 通貨
 通貨 : マダガスカル・アリアリ (MGA)
- (8) 通貨レート
 為替レート : 1USD = 約1,920MGA (2011年9月)
 1EUR = 約2,780MGA (2011年9月)
 1JPY = 約25MGA (2011年9月)
- (9) 関係機関
 【在外日本関係機関】
 日本大使館
 所在地 : Villa Chrysantheme, Ambohitovo-Analamahitsy, Antananarivo (B.P. 3863)
 電話 : 22-493-57
- (10) 有用サイト
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html> (外務省「各国・地域情勢」)
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html> (外務省「渡航関連情報」)

Part 2 生活情報

「生活情報」は特に記載のない限り、JICA事務所があるアンタナナリボの情報を中心に掲載しています。
1円 = 約25MGA(マダガスカル・アリアリ)、1ユーロ(EURO) = 約2,780MGA、1米ドル = 約1,920MGA(2011年10月)

1. ホテル、住宅



1-1 ホテル

アンタナナリボには、数多くのホテルがある。一般的に、物価に比べてホテル料金は割高である。支払は現地通貨(MGA; マダガスカル・アリアリ)、米ドル、ユーロなどでも可能だが、利用するホテルによって異なるので事前の確認が必要である。一部のホテルではVISAなど主要なクレジットカードでの支払いも可能であるが、暗証番号の入力が求められる。また、機械の故障等で一時的に利用できない場合もある。



Hotel Colbert

次に記載するのは、日本人がよく利用するホテルである(詳細はPart3イエローページを参照)。各ホテルとも長期滞在に利用できる。また、キッチン付のアパートメントホテルも存在しており、赴任直後の滞在などに利用可能である。



Hotel du Louvre



- ・Hotel Carlton(ホテル・カールトン)
- ・Hotel Colbert(ホテル・コルベール)
- ・Hotel du Louvre(ホテル・ド・ルーブル)
- ・Hotel Tamboho(ホテル・タンブフ)
- ・Hotel Ibis(ホテル・イビス)
- ・Radama Hotel(ラダマ・ホテル)
- ・Hotel Panorama(ホテル・パノラマ)
- ・Hotel de France(ホテル・ド・フランス)
- ・Sunny Garden Hotel(サニーガーデン・ホテル)
- ・Palissandre Hotel(パリサンドラ・ホテル)
- ・Sakamanga(サカマンガ)
- ・SOKHOTEL(ソコテル)
- ・Residence du Rova(レジダンス・デュ・ルーバ)
- ・Hotel Besoa I, II(ホテル・ベソア1, 2)

1-2 住宅事情

満足できる住宅を見つけることはなかなか難しいが、ガレージ付きのマンションタイプ、一軒家、いずれも存在する。家具付の住宅は少ない。

家賃は、住宅規模や地域、施設内容、電話の有無などにより異なる。外国人向けの住居が集まる地区もあるが、地区の所在に関わらず十分な防犯対策が必要である。

1-3 住宅の探し方

一般的には、着任後に現地の不動産業者を通じて探すことになる。新聞広告を通して探すこともできるが、現地の習慣や事情がわからない場合は、あまり勧められない。事前に知人、友人に依頼して情報収集することは可能だが、住宅不足の状況から、前もって物件を押さえることは困難である。

主な不動産会社は以下のとおり。



- ・Immobilier Conseil Gestion
- ・Austral Immobilier
- ・Guy Hoquet
- ・Tana Promo

1-4 住宅選定上の留意点

住宅を選定するにあたり、まずは周辺地域および通勤路の安全性を確認する。また、通勤・通学時の交通渋滞が激しいため、勤務地や学校(学童期の子女を伴う赴任の場合)へのアクセスを重視することを勧める。

また、住宅の規模、住宅内の施設(家具の有無、電気、水道、電話、車庫、使用人の部屋、トイレ、塀など)、家賃、家主などを確認することになるが、全てが満たされることは難しいので、各人の優先順位に基づいて決めることになる。

一般に家具付きの住宅は少ない。各自で家具を購入することになるが、家主との交渉で、家具付きの条件にすることが可能な場合もある。

1-5 住宅の契約

一般に、住宅の契約期間は1年である。契約に際しては、不可抗力による戦争、動乱、火災、天変地異、当事者のコントロールし得ない事由による解除事項(force majeure)などの内容も、できるだけ契約書に明記したほうがよい。移転や途中解約などの場合に、1~3カ月前の事前通達を行うことも、あらかじめ明示する必要がある。家賃の支払い方法や補修条件、施設内容、家主と借家人の義務など、項目ごとにはっきりと明記し、また家具付き住宅の場合は、家主立ち会いのもとに装備品リスト(état des lieux)を作成し、事前に確認しておくこと等が後のトラブル回避につながる。

契約時には、家賃1-2ヵ月分の保証金(caution)の支払を求められるが、金額は家主との協議によって決まる。

また通常、借家人は不動産会社への仲介手数料として家賃の1ヵ月分に相当する金額を支払うことになる。

契約更新(延長、内容変更も含む)の際には、一般に家賃の値上げがあるので、家主との交渉が必要である。あらかじめ契約書に、「物価上昇率に基づく」「%を上限にする」などの記載をしておく、更新時の交渉がスムーズに進む。

なお、外貨建てによる家賃設定をすることもあるが、当国の法律により外貨

建てでの契約は禁じられているので、MGAとの交換レートを明記した上でMGA建ての契約を締結することになる。

1-6 電気、ガス、水道などの手続きと管理

< 電気・水道 >

電気水道公団(JIRAMA)の機動力の問題から、水道と電気の供給を止めてしまうと再開するのに時間を要することを嫌って、家主名義のまま継続契約をしている住居も多い。また前任者の住宅を引き継ぐ場合などは、新規契約ではなく名義変更の手続きをすることになる。いずれにせよ、契約時に状況を確認する必要がある。

新規契約は住居の状況を確認したうえで、また名義変更はメーターを確認したのち、電気水道会社(JIRAMA 本部所在地 :120,Rue Rainandriamampandry, Faravohitra B.P.200 Antananarivo 101 電話 :22-200-31 FAX :22-338-06)で行う。

使用料金は、JIRAMAが月毎に使用料をチェックし、その約1カ月後に請求書が送付されてくる。手元に届いたら、記載されている請求金額や使用量を必ず確認し、問題がなければJIRAMAの窓口で小切手または現金で支払いを行う。

地方では、大きな都市であれば水道・電気も使用可能だが、小都市や村落部の場合は供給されていないところもあるので、それなりの準備が必要である。

< ガス >

現地ではブタンガスが使用されており、日本製の器具は使用できない。ガスはガソリンスタンドやスーパーマーケットで空のボンベと交換して購入する。ボンベは、VITOGAZ社製、GALANA社製、HANDIGA社製などがある。都市部では問題ないものの、ガスが入手できない村落部では電気や炭を利用することになる。

< ごみ処理 >

ごみ処理は、アパートメントであれば共同のゴミ捨て場に、一軒家の場合は公共ゴミ捨て場に捨てる。

1-7 家電

(1) 電圧

電圧は220～240V、周波数は50Hzである。雨季は停電の回数が増え、電圧が一時的に変化することがあるため、無停電機能付スタビライザー(安定化装置)を購入すると便利である。1時間に何度も停電する日は、使わない電源は抜いておいたほうが無難である。

日本国内仕様の製品を使用する場合には、変圧器が必要である(現地購入も可)。電圧変動がプラス・マイナス10%あるので、変圧器は電圧センサーの保護回路がついたものがよい。特にパ



モジュージャック(左)とコンセント(右)
マダガスカル 7

ソコンなどの製品保護には効果がある。

(2) コンセント、モジュージャックの形>

フランスと同じコンセント、プラグ、モジュージャックである。

(3) 家電製品

日本に比べて割高であるが、テレビ、DVD/CDプレーヤー、洗濯機、掃除機、冷蔵庫・冷凍庫、アイロン、ヘアドライヤーなどは現地で購入できるので持参する必要はない。電気炊飯器は最近出回っているが、性能にこだわる場合は日本からの持参を勧める。

鉄板焼きセット、コタツなどのような日本特有の家電製品は入手できないので、必要な場合は持参すると良い。

パソコン、デジタルカメラなども現地で購入可能であるが、選択幅が少ないことや非常に割高であることも鑑みて、持参するか否かを決めると良い。



1-8 家具保険

一戸建てを賃貸する場合は、火災、盗難、災害に対する保険に入る必要がある。マンション形式の場合は、保険料も込みで家賃が割り出されている場合もあるが、家主や物件によっては入居後、別途保険をかけることになる。

1-9 その他

2009年1～3月の政変以降は治安が悪化し、従来からの空き巣などの被害に加え、強盗傷害事件も発生している。住居のドアは、南京錠やその他の二つ以上の鍵で施錠すること。また基本的なことではあるが、常に施錠するように習慣づけることが肝要である。出窓などには鉄格子を設けたほうがよい。



当地にはいくつかの警備員派遣会社(G4S、Vesta、SSSM、SPSなど)(詳細はPart3イエローページを参照)があり、月極めでの契約ができる。派遣会社を通さず個人契約の警備員も存在するが、レベルはさまざまであるため契約前に十分な確認をすることが安全確保のためには重要である。

2. 衣料、理容



2-1 衣料全般

(1) 一般事情

首都アンタナナリボは、海拔1250～1400m前後の中央高地に位置している。そのため、夏場にクーラーや扇風機などを使用することはあまりない。季節はおおまかに夏と冬に分けられる。夏(10月～翌年の5月ごろまで)の昼間は半袖で過ごすことも可能であるが、雨の多い期間(12月～2月)には気温が摂氏15℃まで下がることもある。冬はほとんど雨が降らないが、朝晩は10℃以下まで冷えることもあるため、セーター、厚手の上着、コートなどの防寒着が必要である。

北西部のMahajanga(マハジャンガ、フランス名Majunga :マジュンガ)、東海岸のToamasina(トアマシナ、フランス名Tamatave :タマタブ)、西海岸のMorondava(ムルンダヴァ)などは、一般的に年間を通じて湿度が高く、真夏では気温が時に40度を超えることもある。

(2) 日本から持参したほうがよい衣料

現地でも衣類は入手可能であるが、都市部に滞在する場合は、品質・デザインなどの面から考えて、以下に記載するものを持参するとよい。

< 男性用 >

スーツ(夏用、冬用)、ワイシャツ(長袖、半袖)、靴(運動用、フォーマル用革靴)、帽子、スポーツウエア、下着、防寒具、等。

< 女性用 >

ビジネススーツ(夏用、冬用)、ブラウス(夏用)、ワンピース、ストッキング、靴(男性用に準ずる)、帽子、スポーツウエア、下着、防寒具、等。

< その他 >

エプロン、タオルケット、子供服、乳幼児用衣料など。

また、シーツ、枕、ベッドカバー、タオル、毛布なども入手可能であるが、こだわりや気に入ったものがあるのなら持参するとよい。

(3) 現地で調達できる衣料

Tシャツなどの綿類は、安価で種類も揃っているので、現地で購入できる。

(4) その他の留意点

肌着類は余分にあったほうがよい。

また、12～2月は夕方になると激しく雨が降るので、雨傘、レインコート、雨靴などがあると重宝する。

2-2 礼装

(1) パーティー

パーティー等に出席する際は、男性はスーツにネクタイもしくはジャケットにシャツ、女性もそれに準じた服装を着用すれば問題はない。

(2) 式典

毎年、天皇誕生日に日本大使公邸で、マダガスカル政府要人や各国大使などを招いてレセプションが開かれる。そのほか、援助施設の開所式、機材の引き渡し式、日本政府ミッションへの同行などで、現地の政府要人と面会することが多く、ブラックスーツなどは必携である。女性は、和服を着用すると喜ばれる。

(3) 冠婚葬祭

冠婚葬祭に招かれる機会もあるが、上記パーティー・式典に準ずる服装で出席すれば問題ない。

(4) その他の留意点

首都では、公務員やビジネスマンは、男性であればスーツにネクタイが一般的

な格好である。日本にいる時と同様、TPOに応じた服装をすれば問題はない。

2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

(1) 洗濯

洗濯機は現地で入手できる。洗濯機を使用しない場合は、使用人や町の洗濯屋に依頼して衣類などを手洗いしてもらうことも可能である。屋外に干した場合、アンタナナリボではそれほど見られないが、地方では、虫がついたり、虫が卵を産みつけたりすることがあるので、肌着類はスチームアイロンなどを使用して殺菌したほうがよい。

ドライクリーニング店は市内に数店ある。主な店は、チェーン店のNET A SEC (ネットセック。Avenue de l'Independence店 / 電話 : 22-211-27などが利用しやすい) である。技術水準はあまり高くないので、高級品は出さないほうが賢明である。またHotel Carltonへ持ち込んでクリーニングを依頼することもできる。

(2) 仕立て、修繕

仕立てや修繕は市内の店に依頼できる。簡単なものであれば、日本から裁縫セット(糸、ゴム、ファスナー、ボタン、ホックなど)を持参するのほひとつの方法である。

(3) 保管

雨季には衣類にもカビが生えやすくなる。衣類保管用のビニール、保管箱などは現地で入手できないので、必要な場合は持参した方がよい。

2-4 美容院、理髪店

料金は、カットのみで10,000 - 40,000MGA程度で、利用する店によって異なる。シャンプー、ブローなどは別料金となる。日本人の利用している美容院・理髪店は、次のとおりである(詳細はPart3イエローページを参照)。



- ・Salon de Coiffure Carlton
- ・Pele-Meche
- ・TARA'S
- ・amazones

3. チップ



3-1 チップ事情

(1) 習慣の有無

マダガスカルには、教育、医療、交通規則、法律などに、かつての宗主国であるフランスの影響が色濃く残っているが、チップに関してもフランス同様、一般的な習慣がある。

(2) 各種サービスに対するチップ

レストランの請求書にサービス料が含まれていない場合は、1人あたり100～

1,000MGA程度のチップを出すのが一般的であるが、実際には、支払い金額やサービスの満足度に基づいて決めればよい。

また、ホテルで荷物を運んでもらった場合は約200MGA/個、レストランなどでガードマンが車両を誘導・監視してくれた場合も100～200MGA/回程度のチップを渡す。

4. 食生活



4-1 外食

(1) 一般事情

アンタナナリボにはレストランが多く、格安の食堂から高級レストランまで予算に応じて選ぶことができる。また、中国、韓国、インド、インドネシア、フランス、イタリア料理など、TPOに応じて店を使い分けることができる。ただし、高級レストランにおいても食材の鮮度管理が行き届いていない事があるので、寿司、刺身、生牡蠣等は避けた方が無難である。

(2) 飲食店

外国人が利用している主な飲食店は、次のとおりである（詳細はPart3イエロページを参照）。少人数でレストランに行く場合は問題ないが、5人程度以上または個室を利用したい場合は予約を入れておいたほうが無難である。



< 中国料理 >

- ・ Le Dun Huang (敦煌)
- ・ Le Grand Orient (大東)
- ・ La Jonquille
- ・ Muraille de Chine (長城飯店)
- ・ La Musique
- ・ La Perle (パール)
- ・ Restaurant de Chine (中国飯店)
- ・ Le Shangai (上海)



中国料理Le Dun Huang(敦煌)

< 韓国料理 >

- ・ ARIRANG
- ・ New KOREA
- ・ SEOUL

< フランス料理 >

- ・ La Boussole
- ・ Le KUDéTA
- ・ Palissandre
- ・ Le Petit Verdot
- ・ Le Rossini
- ・ La Taverne

・La Varangue

<イタリア料理>

・Chalet des Roses

・Nerone

<インターナショナル料理>

・Oh! Poivre Vert

・La Villa Vanille

・OZONE

<インド料理>

・Shalimar

<マダガスカル料理>

・Chez Mariette

・Tsiky Restaurant

・TATAO

4-2 食料

(1) 一般事情

食料は、大型のスーパーマーケットや青空市場、商店などで容易に入手できる。特に外国人は、Jumbo Score、Shoprite、Leaderprice（(3)「食料の入手」を参照）といった外国資本による大型スーパーマーケットを頻繁に利用している。

(2) 主な食品の出回り状況

野菜、果物、米、豆類、肉類など、たいいていのは出回っている。新鮮な生鮮食料品は、青空市で近郊から運ばれたものが売買されている。

<肉類(魚類)など>

品揃えや保存法を考えると、青空市場よりも大型スーパーマーケットで入手したほうがよい。Jumbo Score Ankorondrano店では比較的新鮮な魚介類が入手可能な日もある。Ambohitovo(アンブイジャトゥブ)地区の魚屋Poissonnerie Tokiでは、顧客リストに登録すると、刺身用の魚やエビなど希望の品が入荷した際に連絡が入る。

<野菜、果物など>

露地栽培のため出盛りの時季は限られるが、日本で一般に売られているものはほぼ入手可能である。

<パン>

一般的に通りに沿いの商店などでも入手可能である。またチェーン店Mouf'rey店も市内にいくつもある。Mahamasina(マハマシナ)競技場前のLa Gerb'Or(ラ・ジェルブドール)、Ivandry(イヴァンジ)のLe Grillon(ル・グリオン)、Hotel Colbert(ホテル・コルベール)など((3)「食料品の入手」を参照)では、焼きたてのパンが入手できる。

< 調味料、香辛料 >

砂糖、塩、コショウなどは青空市、大型スーパー、いずれでも入手できる。

< アルコール類 >

ビール、ワイン、ラムはマダガスカル産のものがあり、入手に問題はない。THB(テー・アッシュ・ペー; Three Horses Beer)とLazan'i Betsileo(ラザニ・ベチレウ・ワイン)などは、マダガスカル人にもよく飲まれている。輸入酒類は高価であるが、外国人は身分証明書を提示することによって免税品店から安く購入することができる。主な免税店はホテル・カールトン、SOFITRANS、Isoraka(イスラカ)地区のワイン店La Caveなど。スーパーマーケットでは主に、フランス産、南アフリカ産等のワインが販売されている。

< 水、飲料 >

水道水を飲料用に使う時は、必ず沸騰させて濾過器を使用すること。ミネラルウォーターにはEau Viveなどの国産品が3種類ある。Volvic、Evian、Contrex、Vichyなどのフランス産ミネラルウォーターも販売しているが割高である。トニック水、ソーダ水、ソフトドリンク等は、国産、輸入品いずれも入手できる。

(3) 食料の入手

日本食料品はほとんど入手できないので、必要であれば持参するしかない。

醤油、料理酒、みりん、めんつゆ、わさび、海苔など一部のものはJICA事務所近くの輸入食材店等で入手できるが、高価である上、輸入状況により必ずあるとは限らない。豆腐は中国料理店や食材店で入手できる。

主なスーパーマーケット、パン店は次のとおり。



< スーパーマーケット >

- ・Jumbo Score
- ・Shoprite
- ・Leaderprice
- ・Super Market

< パン店 >

- ・Mouf'rey
- ・La Gerb'Or(ラ・ジェルボール)
- ・Le Grillon(ル・グリオン)
- ・Patisserie Colbert(パティスリー・コルベール)



スーパーマーケットJumbo Score

4-3 食器、調理器具

(1) 食器、調理器具などの入手

品質や性能などを気にしなければ、たいていの調理器具を入手することが出来る。上述のスーパーマーケットでは、中国製、アフリカ製、フランス製などの商品が販売されている。価格は割高である。

(2) 日本から持参したほうがよい食器、調理器具

次のものが必要な場合、また機能を重視する場合は持参すると重宝する。
和包丁、漬物器、和食器、急須、湯呑、すり鉢、しゃもじ、おろし金、計量器、魔法瓶、携帯用クーラーバッグ、弁当箱、はし、水筒、など。

5. 生活用品の購入 5-1 家電製品



Yellow Page

一般的な家庭用電気製品(テレビ、デッキ、洗濯機など)は、日本に比べて割高であるが現地で購入できる。

主な家電製品店は以下のとおりである
(詳細はPart3イエローページを参照)。

- ・COURTS
- ・Sider“Philips”
- ・NAZA ELECTRONIC
- ・EUREKA Sarl



家具・家電店COURTS

5-2 家具

家具、調度品を販売している店はたくさんある。注文生産も可能であるが、注文から納品まで1~3カ月程度かかるので、早めに注文したほうがよい。

主な家具店には、以下の店がある。また、大型スーパーマーケットJumbo Score Ankorondrano店に隣接した家具・家電販売店COURTSなどでも購入できる。

Yellow Page

- ・Sept Prix Meuble
- ・COURTS
- ・HAZOVATO
- ・BRICOBAT

5-3 日用品、雑貨

トイレットペーパー、ティッシュペーパー等の各種消耗品、文房具、掃除用具、バスルーム用小物など日用品、雑貨は大手スーパーマーケットでほとんど購入できる。

また事務用品を扱っている店は以下のとおり。

Yellow Page

- ・BUROTEC
- ・ETABLISSEMENTS BRUNO AUDIER
- ・ESPACE LOISIRS
- ・LIBRAIRIE PAPETERIE DE LA GRANDE ILE

5-4 工具、素材

日曜大工品全般から、照明器具、屋外家具、園芸用品など基本的なものは、ほぼ購入できる。

主な工具・素材店は次のとおり。

- ・Mr.Bricolage
- ・Weldom Bricobat SA



工具・素材店Mr. Bricolage

Yellow Page

6. 金融機関



6-1 金融機関

(1) 銀行

銀行の民営化が進み、マダガスカルすべての銀行に、フランス系のCredit Agricole、Societe Generale、BNP Paribas、南アフリカ系のBank of Africaなどの外国資本が入り、サービスは向上している。

日本人が利用する主な銀行は次のとおり(詳細はPart3イエローページを参照)。いずれも土日は休みであるが、キャッシュディスペンサーで24時間現金が引き出せる。

- ・B.M.O.I.
- ・B.N.I./C.A.
- ・B.F.V.S.G.-Western Union
- ・B.T.M./B.O.A.
- ・U.C.B.

Yellow Page

(2) 口座の開設と閉鎖

口座開設の際の必要書類、手続きなどは銀行によって異なる(Part3イエローページを参照)。長期滞在者の場合は、外貨口座と現地通貨(アリアリ)口座の2つの口座を持つことが一般的である。海外から米ドル建て(もしくはユーロ建て)で外貨口座へ送金し必要分をアリアリ口座へ移す方法は、リスクが少ない。アリアリ口座へ移した現地通貨は、必要時に小切手やクレジット機能付キャッシュカードで決済、現金化することができる。

口座閉鎖の際には、銀行の閉鎖書類に記入して全額を引き出すか、外貨に交換する。外貨の持ち出し制限はないが(正規に銀行で交換した証書があれば問題ない)、外貨購入時には航空券と旅券の提示が必要である。外貨口座から、残高を国外の口座にそのまま送金することもできる。

口座閉鎖手続きには少なくともアンタナナリボでは1週間、地方では3週間を見込む必要がある。

(3) 小切手

クレジットカードが普及していない分、額の張る支払いは小切手で行う習慣がある。小切手作成に必要なので、フランス語で数字をスペルアウトできるようにし

ておくことを勧める。また、電気代、水道代、電話代などの支払いも小切手が便利である。スーパーマーケットでも、外国人は小切手での支払いが多い。レジでブランクの小切手を渡すと機械が数字をプリントしてくれるので、確認してサインをするだけで済む。ただし、身分証明書の提示を求められる(店によっては、20万アリアリを超える支払いの場合、2種類以上の身分証明書の提示を求められる)。

(4) 換金方法

現金の場合、イヴァト国際空港に換金所があるほか、ホテルによってもフロントで換金可能なところがある。銀行であれば米ドル、ユーロに加えて日本円からも換金も可能である。

安全を考えるとトラベラーズチェック(以下TC)(VISA、American Express)の持参も一案ではあるが、BOAなどごく一部を除く銀行では当該銀行に口座を開設していないと換金してもらえないので、口座開設予定のない短期滞在者にはあまり向かない。また、地方では使用できないことも多い。TCの換金に際しては、購入時の控え書、及び旅券原本の提示を求められる。

6-2 クレジットカード

一般に知られているのはVISAカードで、Master CardやAmerican Expressはマイナーなので注意を要する。国内外で使える銀行独自のクレジットカードも発行され、大手スーパーマーケットでのカードによる支払いや、市内に数カ所あるATMでの現金引き出しが24時間可能となっている。屋外よりもロビー内で安心して引き出したい場合はホテル・カールトン内のATMを利用できる。

7. 交通事情



7-1 交通手段

(1) 一般事情

主な公共交通手段はバスとタクシーである。全国的に道路の状態はよくない。バスはマダガスカル人が広く活用しており、特に長距離バス(タクシーブラス)は、庶民にとって各都市間を結ぶ唯一の交通手段である。

鉄道用の線路が一部都市間に存在しているが、主に貨物輸送に使用されている。

空路は全国的に発達しており、首都から主要都市への航空路線は一応完備されている。陸路に比べて費用が高いため、主に外国人や高所得層のマダガスカル人が利用している。外国人旅行者などの利用者も多いため、特に観光地へ向かう便の航空券は、バカンスシーズンはもとより、ふだんでも入手が困難な時もある。早めに予約を入れておくことが肝要である。また、ストライキなどで欠航になることも多いので注意を要する。

(2) 空港から市内への移動

安全の観点から、レンタカー、旅行会社、ホテルなどを通じて、空港送迎をあらかじめ依頼すること。特に日没後から日の出まではバスやタクシーの利用を避ける。

なお、空港の駐車場には公認タクシー (taxi agréé、運転手は公認タクシー証明書 (仏語) を持っているので内容を十分確認する) も待機しており、料金は交渉により日中で片道約40,000～50,000MGA (約20～25USD) である。しかしながら治安の悪化により、2010年1月には夜間の公認タクシーによる凶悪犯罪被害が発生しているため、当面は昼夜を問わず、公認タクシーを含むタクシー全般の利用を避けることを強く勧める。

所要時間は、渋滞に巻き込まれなければ40分から1時間弱である。

(3) 自家用車を利用する場合

アンタナナリボ市内の道路は幅員が狭く、舗装状態はあまりよいとはいえない。路線は複雑に入り組んでいる上に、急勾配の道路が多い。市内中心部は標識のない一方通行も多く、複雑である。機能している信号はない。急坂や悪路に加え、雨季には冠水する道路が多い。自家用車を利用する場合はこのような道路環境に対応できるものが望ましいが、市内や幹線道路など条件の良い道路であれば、セダンでも十分走行できる。

運転をする際は、ロータリー、T字路、Y字路などの交差点での優先路線は、一般に自分の左側から来る車であることに留意する。首都市内はアップダウンが激しく、道路の状態も悪いので、スピードはあまり出せない。現地の道順、運転マナーなどに慣れないうちは、運転手を雇用するなどして、自らは運転をしないほうが無難である。雨季には、瞬時に大量の雨が降るため、視界が狭まったり、流水で道路の穴が見えなくなったりするなどの危険がある。あわてずに安全運転を常に心がけること。

車輛の輸入・売買については「19.私財の輸送、引き取り、購入」の「19-2 自動車」の項参照。

(4) レンタカーなどを利用する場合

現地の代表的なレンタカー会社は以下のとおりである (詳細はPart3イエローページを参照)。レンタル料金は非常に高いが、一般的にドライバー付きで車輛を借りられる。車両のみレンタルを受付ける会社もあるが、事前に確認が必要。



- ・AVIS (アヴィ)
- ・Société SUNTOUR (ソシエテ・サントゥール) (車の販売会社TOYOTA Rasetta (トヨタ・ラセッタ) が経営するレンタカー・サービス)
- ・Europcar-Mada Rent (ユーロップカー)
- ・Hertz (ヘルツ)

(5)地図

簡単な市内地図や全国地図(200万分の1)、地方図(50万分の1)は書店やホテルで購入できる。公的機関による地図としては、マダガスカル国土地理院(FTM)から5万分の1、10万分の1、航空写真等の地図を購入できる。



7-2 交通事故、盗難

(1)対処方法

交通事故認定エージェント(OFIPA :Office d'Intervention et de Prevention Automobile、24時間体制で年中無休 電話 :22-266-99)が存在するが、コンタクトはとりにくい。当事者同士で「事故認定書(Constat de l'Accident)」を記入するのが一般的である。

後日、保険会社に認定書を送付し、保険会社の事故査定士の査定を受けて、保険処理することになる。一般に、小さな事故の場合には示談で済ませることもある。示談が成立したら、必ず双方の同意書(メモ程度でも可)を取り交わすこと。なお、人身事故の場合は、警察の調査が加わる。

(2)救急病院



主な救急病院については、Part3イエローページの14.「医療機関」を参照。

(3)車両の盗難、車上荒らし

昼夜を問わず、車上荒らしや、車の部品盗難などは多い。自動車そのものが盗まれることはまれである。防犯対策としては、車内に貴重品を置かないこと、運転手または警備員に車から離れないように指示する、などが挙げられる。カーステレオもよく盗まれるので、操作版が取外し可能なものであれば、車から離れるときに持ち歩くと良い。部品の盗難に遭った時は、それが手元に戻ってくることはまずない。

7-3 交通違反

(1)交通法規

右側通行(車は左ハンドル)であり、道路交通法規はおおむねフランスに準じている。現地のフランス人、マダガスカル人の運転マナーはよいとはいいがたいので、自ら運転する時には注意が必要である。

深夜は市内の各地で警察の検問がある。検問では運転免許証、車輛登録証(carte grise)、保険証の提示を求められることが多い。

(2)罰金、罰則

車検、保険が切れていたり、交通標識を守らなかったり、運転手が免許証や車輛登録証(Carte Grise)を不携帯であった場合などは、その場で罰金額の書かれたペーパーを渡されて免許証、もしくは車輛登録証(carte grise)を取り上げられ、警視庁(Hotel de Police)に出頭し罰金を支払うことになる。

7-4 車の修理

(1) 部品

車や部品などは、すべて日本、フランス、ドイツ、韓国などからの輸入品である。

最も一般的なセダンはフランス車であり日本製は稀である。一方4WDはトヨタ製が多い。

現地ではタイヤ、チューブなどの消耗品や主要部品などが購入できるが、在庫が不十分なため、海外に注文しなければならないこともしばしばあり得る。地元のカレージでは、中古のスペアパーツも売買されている。

中国製の偽部品なども一部出回っているため、注意が必要である。

(2) 修理工場

各車とも、正規代理店であれば、ある程度信頼して任せられる。ただし、電気関係や自動変速装置関係の特殊修理などのできあがり、あまり期待できない。なお、部品の盗難もあり得るので、点検修理後、車を受け取る時にチェックを怠らないようにすること。

また、中古部品などを使う町工場のようなガレージは無数にあるが、技術レベルもさまざまである。

主な修理工場(正規代理店)は以下のとおりである。



- ・TOYOTA Rasseta (Behoririka) (トヨタ)
- ・Sicam (Analakely) (三菱、スズキ)
- ・Ocean Trade Co. (Andraharo) (マツダ、ダイハツ)
- ・Madagascar Automobile = Madauto (Andraharo) (日産)

8. 通信



8-1 電話

(1) 一般事情

各社(TELMA(Telecom Malagasy)、AIRTEL、ORANGE)の競争によって、携帯電話が広く普及している。地方都市でもいずれかの携帯電話の利用が可能になりつつある。携帯電話と自宅の固定式電話を併用している例が多い。町中には公衆電話のほか、私設の電話ステーションがある。

固定電話はTELMA(020-22-以下5桁)1社であるが、携帯電話はTELMA(034-以下7桁)、AIRTEL(033-以下7桁)、ORANGE(032-以下7桁)の3社が存在する(詳細はPart3イエローページを参照)。

さらに、インターネットサービスも数社が提供しており、主要な都市では電話回線を通じた接続や無線による接続が簡単にできるようになった。



< 固定電話 >

- ・TELMA

< 携帯電話 >

- ・AIRTEL
- ・ORANGE
- ・TELMA Mobile

(2) 国内電話

< 電話のかけ方 >

・固定電話へ：

市外局番のあとに5桁の電話番号をつけてダイヤルする(同一市内の固定電話どうしの通話の場合は市外局番は不要)。市外局番はアンタナナリボ22、アンチラベ44、トアマシナ53、セントマリ-57、マジュンガ62、ムルンダヴァ95、ディエゴ82、チュレール94など地域により異なるが、基本的には固定電話番号5桁の前についている2桁の数字が市外局番に相当する。

・携帯電話へ：

032(ORANGE)、033(AIRTEL)、034(TELMA)、など、携帯電話会社ごとの番号があるので、その3桁のあとに7桁の携帯電話番号をつける。

(3) 国際電話

マダガスカルと日本の間の国際電話は、回線不調の場合が多い。

マダガスカルから日本へかけた場合、料金の請求は約2カ月後である。他人の電話代を請求されることもあるので、国際電話の通話先や電話番号、通話時間、予約番号などをよく調べた上で料金を支払うこと。なお、料金には付加価値税が加算される。

< 電話のかけ方 >

・マダガスカルから日本へ：

00-81(日本の国番号)-市外局番を含む相手先電話番号をダイヤルする。

・日本からマダガスカルへ：

固定電話にかける場合は、「261(マダガスカル国番号)-20(TELMAの番号)-市外局番-5桁の電話番号」、携帯電話にかける場合は、「261-33(ほか34、32など携帯電話会社の番号)-7桁の携帯電話番号」となる。

(4) 携帯電話

2000年に、携帯電話の利用者数は固定式電話の利用者数を抜いた。現在3社が価格面、サービス利用範囲などで競っている。1回の通話料は、固定式電話に比べ若干割高ではあるが、プリペイドサービス、時間帯サービスなどが受けられ、加入時に煩雑な手続きが必要ないので、利用者が急増している。

8-2 電信

(1) インターネット

代表的なプロバイダはMOOV(dts)とBLUELINEであり、アンタナナリボやトアマシナ、マジュンガ等の都市で利用できる。プロバイダへの接続に関しては、電

話回線を利用する方法と無線で繋ぐ方法があり、後者の場合はプロバイダから受信装置を購入する。

利用料金の支払は、契約条件や利用時間に合わせて銀行口座から支払う方法と、大手スーパーなどで販売されているプリペイドカードを利用する方法がある。料金は会社、利用条件、時期(販売促進のための値引き等)によって異なる。



・MOOV(dts)

・BLUELINE

(2) ファクシミリ

ほとんどのホテル、会社、大使館などにある。料金は国際電話と同じである。ただし、日本との送受信は回線不調の場合が多い。

(3) テレックス

最近ではファックス、E-mailで代用されることが増え、一般的ではなくなっている。

(4) 電報

国内外ともに可能である。

8-3 郵便

(1) 一般事情

日本のように住所宛に届けられることはなく、私書箱を利用するのが一般的である。日本からの郵送は航空郵便、船便ともに事情はよくなってきている。しかし船便は、盗難による被害が生じることもあるので注意が必要である。

外国小包の受け取りは、到着通知書と身分証明書を郵便局に持参し、通関手数料を支払って検査を受ける。念のために、フランス語でインボイスを準備しておくことが望ましい。

マダガスカルから日本に郵便物を出した場合、所要日数は10～14日となっている。

主な郵便局は次のとおり。



・中央郵便局 (Paositra Malagasy)

・外国郵便局 (Colis Postaux)

(2) 課税

私物は6カ月を過ぎた場合は課税の対象となり、CIF(船賃も含めた現地到着までの価格)にマダガスカルの税金が課税される。

一般の日本人に送付された荷物には、マダガスカル国の規定に基づいて課税される。

(3) 国際宅配サービス



マダガスカルで利用できる国際宅配サービス会社には、DHLとMADCOURRIER(UPS)がある。

9. コンピューター



Yellow Page

9-1 ハード、ソフト

(1) 調達の方法

Apple、IBM系を含めて、コンピューター関連の販売・修理店は数多くある。代表的な店は、次のとおりである（詳細はPart3イエローページを参照）。

- ・MIC (Madagascar Informatique Corporation)
- ・A.P.M.A.
- ・First Info Services

(2) 使用の際の注意

スタビライザーはなくてもパソコンの使用は可能だが、電圧変動による故障が起こりえるので、心配な場合は活用したほうが無難である。

ウィルス対策は、日本で考えられるのと同様の措置が望ましい。

ソフトの海賊版が多種出回っているため、高価な正規商品を購入する人は少ないが、企業、事務所設立などでOA機材を設置する場合は、新しい正規ソフトをインストールすべきである。

(3) 修理

上記(1)「調達の方法」に照会している代理店での修理は可能であるが、日本語仕様のものは対応が困難と考えておいた方がよい。

10. 職場環境、勤務条件



10-1 職場環境、勤務条件

(1) 就業時間

公務員の就業時間は2007年7月以降9:00～17:00（内、30分の昼休みあり：時間は不定）と定められたものの、実際の運用は省庁や部局によってさまざまな対応をしているのが一般的である。

(2) 有給休暇

有給休暇は年30日（原則として1ヶ月の連続休暇）。3年の繰り越し（90日）が認められている。

(3) 執務室

配属先により条件が異なる。専門家専用の電話、FAX、コピー機、パソコンなどは備え付けられていない場合が大半であり、事務所にFAXやコピー機がない省庁もある。

(4) 通勤事情

アンタナナリボでの交通手段は、ミニバス（乗り合いバス）かタクシーに限られるので、JICA専門家は一般的に自家用車で通勤している。しかし、年々交通渋滞がひどくなっており、ラッシュの時間帯には、職場と自宅の間の距離が5km程度でも車で30分～1時間かかることもある。現地職員はミニバスを使って通勤するのが一般的である。

11. 出入国手続き



11-1 入国

(1) 空港施設概要

イヴァト国際空港では、飛行機から降りると徒歩で入国審査(旅券チェック)室へ案内される。入国審査が終わると、荷物引き取りブース、税関検査(荷物チェック)を経て空港ロビーに出る。到着/出発ともにロビーはひとつだけである。空港施設内にはレンタカー会社、携帯電話会社などのブースや両替所、小さな土産物屋、スナック・レストランがある。

(2) 入国手続き書類

主に飛行機内で入国カードが配布されるので、これに記入し、入国審査時にパスポートと一緒に渡す。なお、同カードの他に感染症に関連する質問票等の記入・提出を求められる場合もある。

(3) 入国審査

入国目的、滞在先などの一般的な内容を尋ねられる程度である。

(4) 税関検査

一般的にトランクなどを開けるように要求される。

(5) 空港内での留意点

偽ポーターによる荷物の持ち逃げがあるので、荷物は自分で確認し、現地の職員が出迎えの日本人などに監視を依頼するほうがよい。ポーターを雇う場合は、荷物1個あたり200MGA程度が必要。ポーターが勝手に荷物を運び、あとでチップを請求してくることがあるので、頼むつもりがない場合は、はっきりと断ることが重要である。

(6) 出迎え

あらかじめレンタカーや旅行会社などを通じて出迎えを依頼してある場合、該当運転手が到着ロビーで名前などを書いた紙を掲げて待っている。

(7) 空港からの主な交通手段

長期滞在の日本人は自家用車があるので、タクシーやミニバス(乗り合いバス)などを利用することはあまりない。

自家用車や迎えがない場合はタクシーを利用することになるが、メーターがないので乗車前に運転手と料金を交渉する必要がある。料金は、日中であれば30,000～50,000MGA、夜間は約75,000MGAくらいが目安であるが、安全上、日出前・日没後に離着陸する便についてはタクシー利用を避け、レンタカー等を手配すべきである。

慣れた人には空港-市街間のシャトルバス(ナヴェット、10,000アリアリ)の利用も可能であるが、初めての人には勧めない。

所要時間は、ひどい渋滞に巻き込まれなければ40分から1時間弱である。

(8) その他の留意点

外貨交換には旅券が必要である。ホテル(サニーガーデン、カールトン、コルベールなど)や市中銀行で換金できる。しかし、多額の現金を持つのは危険なの

で、必要な時に少額換金することを勧める。

11-2 出国

(1) 出国時の概要

滞在ビザの有効期限などに問題なければ、特に大きな問題はない。

(2) リコンファーム

国際線の場合は、72時間前までにリコンファームを行う。国内線もリコンファームを行い、座席が確保されているかどうかを確認したほうが確実である。

(3) チェックイン

国際線は出発2時間前、国内線は1時間前には空港に到着する必要がある。航空会社は、国際線3時間前、国内線2時間前とアナウンスするが、その時間に空港へ行ってもチェックインカウンターが開いていないことがある。一方で、あまりギリギリに到着してもチェックインできないこともあるので要注意である。

(4) 空港利用税

2000年からチケットを購入する際に支払うことになったため、空港では利用税を支払う必要はない。

(5) その他の留意点

引越し荷物や動植物などを輸出する際は、輸出許可証(E/L)が必要なので、事前にマダガスカル側関係当局へ相談の上、準備しておく。特に、ワシントン条約に触れる動植物は、E/Lが添付されない限り日本への輸出はできない。

また、宝石(原石)や化石、特産物のバニラ等の持ち出しは、マダガスカル政府関係機関(エネルギー・鉱山省、購入地域の自治体等)の証明書がない場合は認められない。加工済みの宝石類でも多量に持ち出す場合は別途呼び出されて没収される場合もあるので、事前に確認のうえ適切な手続きをしておくこと。

11-3 帰国手続き

(1) 帰国時に必要な事務手続き

日本に帰国する際は、住居、電気、水道、電話、インターネット、衛星放送、保険、使用人などに関する契約の解約、銀行口座の閉鎖などの手続きが必要である。

現地で外貨購入する際は、航空券と旅券が必要である。

(2) 車の処分

帰国の半年くらい前から、知人や友人、輸入代理店、または新聞広告で買い手を探す。

売却の際には売買契約書を取り交わし、役所で確認証明を受けること。

(3) 家財道具の処分

家財道具の処分は知人、友人、後任者、あるいは専門の会社などを通して各自で行う。新聞広告を通じて売却相手を探す方法もあるが、いずれにせよ十分な

時間的余裕を持って手続きすることをお勧めする。

携行機材(購送機材)は、所属機関に供与し、受領証をもらう。

(4)住宅の明け渡し

契約時に取り決めた期限内(通常1~3ヶ月前まで)に「解約通知」を出さなければならない。解約通知を送付する際は内容証明書、書留郵便などで家主に通知する等、確実に先方が受領したことがわかる方法で行う。

明け渡し前には家主立会いのもと、部屋の塗装や水回りなどの状況を確認し(état des lieux)、原状回復にかかる費用は借り手の責任になる。契約時に支払った保証金を充てることもある。双方の合意のうえで問題なければ保証金は戻ってくることもあるが、いずれにせよ家主との協議に基づく。

そのほか、電話や電気、水道などの名義変更も忘れずに行い、各メーターに表示されている数字も明記しておいたほうがよい。

マダガスカルでの電気・水道の請求書は、本人の出国後に家主へ送付されることになるので、書類による確認を行ったうえで、知人、友人あるいは後任者に一定金額を預けるか、後日送金する等の手配も忘れないこと。

(5)外貨持ち出し規制

40万MGA以上のマダガスカル・アリアリの持ち出しは禁止されている。

12. 治安、 緊急時の心得



生命・財産に直結することでもあり、治安・安全情報に関しては、各自の責任において最新かつ正確な情報を入手してください。

12-1 暴動、クーデターなど

(1)一般事情

マダガスカルは、2002年の大統領選挙を巡る政治危機のあとは治安は回復し、アフリカの中では比較的治安の良い国と見なされていた。しかし2008年末より当時のラバルマナナ大統領派とラジョエリナ・アンタナナリボ市長派の対立が強まり、翌2009年1月にはラジョエリナ派によるデモや商店・倉庫の略奪が発生し、多数の死傷者が出た。同年3月にはラジョエリナを大統領とする一方的な暫定政府が発足した。これに対し、国際社会は早期に民主的な政権を確立するよう働きかけているが、2011年9月時点においても正常化されていない。

今回の政変に伴い、経済の低迷、失業者の増加、物価の高騰、閉塞感などによる一般犯罪の増加が懸念されるため、通常以上の警戒が必要である。政治集会の場所や対立勢力がらみの施設・拠点へは近づかないようにするとともに、暴動などに巻き込まれないように絶えず新しい安全情報を入手し、首都以外に移動する場合は地方での情勢も確認する必要がある。

その他、世界情勢とリンクしているテロリストの対象になりうる団体、地区には近寄らないようにすることも大事である。

(2)対処法

有事の際には、日本大使館との連絡を密にし、大使館の指示に従って行動すること。また、暴動や自然災害発生時は、食料品や燃料などが入手不可能となる

ので、これらを常備しておく心構えが必要である。

12-2 強盗、盗難

(1) 一般的治安状況

一般にマダガスカル人は穏和で、特に首都近辺の中央高地に住む民族は暴力を嫌う傾向がある。しかし、政府の民主化と政府機関の民営化が進み、都市部での経済発展とともに貧富差が拡大し、スリや強盗などの犯罪が増加する傾向にある。特に2009年1月の政変発生以降は、軍から流出した銃火器を用いた凶悪犯罪も複数発生しており、強盗・盗難に対しては常に警戒すべきである。ホテル内でも同様である。

(2) 住宅の防犯対策

まず、入居時に住居施設に十分な防犯対策(十分な高さの外壁、有刺鉄線など)を施すこと。また、入居後の主な対策として、警備員を雇用するほか、戸締まり(鍵、鉄格子、かんぬき、センサー付き警報装置、メガホン、防犯灯の設置など)を厳重にすること。特に夜中の訪問者は、使用人であっても、ドアは開けないようにしたほうがよい。番犬を飼っている人もいるが、それだけに頼るのは危険なので、先述のような十分な装備を備えること。

(3) 市中での防犯対策

徒歩で青空マーケットに行きショッピングをする場合などは、高価な時計、アクセサリーなどは身につけない、大金も持ち歩かないのが賢明である。また、バックなどは目立たないものを、必ず身体の前側に持つこと。

(4) 注意すべき場所、危険地域

2009年の政変で焼失したAnkorondranoの旧MAGRO(ラバルマナナ経営の商社)倉庫付近、独立大通り(Avenue de l'Independence)、民主主義広場などはデモ集会が頻繁に行われる場所であるため、不要不急の立ち入りは避ける。また、これらの場所や首都以外でも、暴動に巻き込まれないよう、常に最新の情報を入手して行動するよう心がけること。

その他、一般に暗くなってからの徒歩での移動はしないこと。深夜のタクシー利用もなるべく避けたほうが良い。特に単独での深夜タクシー利用は厳禁である。車の移動で貧困地区を横断する時は、窓ガラスを閉めるようにする。

人の多い目抜き通りでも、外国人は目立つのでねらわれやすい。レストランなどでの置き引きもあるので、手荷物は体から離さず、目の届くところに置く、身体に触れておくなど、基本的なことを心がける。

(5) 被害時の心得

被害の状況を確認して、日本大使館に連絡したあと、速やかに警察に通報し、調査に立ち会う。警官が車を持っていないため、通報後に被害者が迎えに行かなければいけない場合もある。盗難品が戻ることはまずないので、あきらめたほうがよい。

空き巣の場合など、大量な被害を受ける可能性もあるので、家財保険への加入も一案である。

12-3 火災、風水害、地震

(1) 一般的災害発生状況

マダガスカルは毎年、12月末～翌年の2月ごろまでの間に、大きなサイクロンに数回見舞われる。特に東部海岸地域では住宅や道路、電柱、橋などが倒壊し、川が決壊する場合もある。このような集中豪雨の際には、道路は川となり、大きな石や材木などが流れてきて危険なので、雨が収まるまで外出は控え、特に車高の低い車は運転しないこと。長靴や雨がっぱなどの雨具類を、トランクに入れておいたほうがよい。

また、アンタナナリポでは、年2～3回、弱い地震がある。過去に建物が壊れたという話は聞かないが、崩壊しそうな建物が多く、注意が必要である。

(2) 防災対策

非常時に備えて発電機、燃料、水、懐中電灯、ろうそく、緊急保存食料品はできるだけ住居内に準備しておく。落雷もあるので、雷の落ちやすいところからは避難する。賃貸の家にかかる保険は、「自然災害による被害への賠償」が含まれたものにする。雨季の雨漏りや、倒木による家屋への被害がたまに見られるので注意する。また、サイクロンの発生時には、地元住民たちからの情報収集の上、参考にして緊急の防災対策を講ずること。

(3) 被災時の心得

暴動時の場合と同様に、日本大使館との連絡を密に保つ。

12-4 緊急連絡先電話番号

- ・マダガスカル日本大使館 : 22-493-57
- ・警察 : 117
- ・消防・救急車 : 118

13. 社交



13-1 風俗習慣

マダガスカルには18の民族が存在する。サカラバ、メリナ、チミヘチ、アンタンカラナ、シハナカ、ベゾナザヌ、バラ、ベツィレウ、タナラ、アンタイムル、タノシ、アンタイサカ、アンタンドロイ、マハファリ、アンタイファシ、アンタンバクカ、ヴェズ、そしてベツィミサラカである。これらは、ほぼインドネシア、マレーシアからの移民、アフリカ大陸からの移住民族である。一方、マダガスカルの先住民は、バジンバ(水の子供たち)と呼ばれ、ピグミーであるが、マダガスカル本島の西南部地域のMorombe(ムルンベ)からMoromdava(ムルンダヴァ)にかけて、ごく少数が在住しているといわれている。

この18民族のなかで最大かつ広域にわたる民族集団は、アフリカ本土系統のサカラバ族である。サカラバ族はマダガスカル本島の西海岸沿岸のほぼ全域に分布しており、現地の文化、習慣に大きな影響を及ぼしている。また、政治的には高地族であるインドネシア系統のメリナ族(首都周辺広範囲に分布)は、支配的な地位を堅持している。

このように多民族から成り立っているマダガスカルだが、全島を通じてインドネシア・マレーシア系の文化、習慣がいきわたっており、言語学的にもオーストロネシア語族との共通点が数多く見られる。

現地の代表的な風俗習慣は次のとおりである。

< 割礼の儀式 >

この儀式は一般的にイスラム・アラブ圏に見られる慣習のひとつであり、インドネシア・マレーシア系の文化に大きく影響を受けているといえる。割礼時期もほぼイスラムと同じで、「5歳未満の子供」を対象にしている。割礼の儀式の時は親族一同(20～30人)が集まり、町の一般道路に練り出し、笛と太鼓を鳴らしながら練り歩くので、しばし交通渋滞を引き起こす。

< 死者の弔い儀式 >

この儀式は現地では「ファマディハナ」と呼ばれ、死者がその家族代々の先祖の1人として社会的に認められるための行事であり、マダガスカル人にとっては「先祖に返る」最重要行事のひとつとなっている。

親族はもちろんのこと、友人、知人たちが各地方から一堂に会し、埋葬後2～3年たった死体を掘り起こし、大気に触れさせ、清拭を施し清め、死衣を新しいものに交換して、先祖代々の墓地に移葬する。

この作業を経て死者は先祖の仲間入りを果たすことができるのであって、この儀式なくしては先祖として認められないとされる。

また、この行事のあとには大宴会(楽団が入り、民族楽器であるバリーハは欠かせないものとされる)が数日間続くといわれている。



街の花屋

13-2 パーティーでの留意点

主賓である場合はスピーチを用意すること。

13-3 来客時の留意点

日本人の価値観のみに基づく押しつけは控えること。可能な限り、相手の希望(食前酒など)を優先する。

13-4 訪問時の留意点

パーティーでの留意点と同様に、主賓である場合はスピーチをする必要があ

る。突然訪れるのではなく、アポイントはとっておく。手土産は内容よりもあくまでも「気持ち」であるが、誰のところに招待されるかによって手土産の内容を吟味する必要がある。外国人として官庁のカウンターパートなどの家に呼ばれる場合は、日本の民芸品なども喜ばれる。

13-5 禁止されている言動(タブー)

特別に禁止されている言動は見あたらないが、政治批判や、宗教(宗教論争は論外である)などについての話題は避けること。

13-6 日本人会

2011年9月現在、日本人数は約121人。毎年、年数回の歓送迎会などが主な活動で、非常に緩やかな、有志による集まりになっている。

13-7 JICA帰国研修員同窓会

マダガスカルのJICA帰国研修員同窓会は、AAAJMという名称で存在しており、日本語スピーチコンテストの主催などの活動を行っている。

13-8 現地の人々との交流

職場の同僚が関係する冠婚葬祭にはできるだけ出席することを勧める。結婚式などよりも、不幸があった際の協力が特に大切とされる。香典を包む、時間が許せばミサや埋葬式に参列するなどの気遣いは必須。

14. 教育



14-1 教育事情

(1) 一般事情

マダガスカルの教育制度はフランスに準じている。日本人学校はない。

初等教育(Enseignement Primaire)機関としては幼稚園(Ecole Maternelle)が2～4年、小学校(Ecole Primaire)が5年。中等教育(Enseignement Secondaire)機関は中学校(College)が4年、高等学校(Lycee)が3年。Lyceeのあとは、大学入学資格(バカロレア)を取得し高等教育機関(Enseignement Supérieur)に進学することになる。(なお2007年に初等教育期間の延長を盛り込んだ教育制度改革法案が成立したが、2009年の政変により実現に至っていない。)

現地校はマダガスカル人のみを対象としているので、外国人は外国人学校に入学することになる。

マダガスカルフランス人学校(Ecole MaternelからLycee)に入学するには、国籍別優先順位があり、フランス、マダガスカル、フランス語圏国、そのほかの国、の順に資格が得られる。最近、マダガスカルではフランス人子女が増加しており、

外国人がフランス人学校に編入する場合は、かなりの時間を要することが多々ある。また、小学部以上は一定レベルのフランス語能力を入学の条件としている。

アメリカンスクール(American School of Antananarivo :ASA)への編入は比較的容易であるが、クラスの定員に空きがない場合もある。学期は、1学期が9月中旬～クリスマス前まで、2学期が1月上旬～復活祭(3月)まで、3学期が4月上旬～6月中旬までで、休校日は祝祭日・土曜日・日曜日となっている。なお、ASAには夏休み(6月下旬～8月下旬)と冬休み(12月中旬～1月上旬)がある。10月と3月には1週間程度の春・秋休みもある。通学は各自、自家用車による送迎となる。

URL: <http://www.asamadagascar.org/>

(2) 日本人学校

現地に日本人学校は存在しないが、年1回1週間程度、ナイロビ日本人学校から教員が派遣され、補修授業が行われることもある。

(3) 現地校、外国人学校

現地校では、外国人は入学の対象とされていない。

主な外国人学校としては次のものがある(詳細はPart3イエローページを参照)。



- ・Ecole Primaire Francaise
- ・Lycee Francais de Tananarive
- ・American School of Antananarivo (ASA)

外国人学校への入学手続きをするには、学校によるが、予防接種証明書、健康診断書等の書類が必要であり、いずれの書類も、英語もしくはフランス語訳の証明書を添付することになっている。また、各校が所定の入学申請書を用意しているので、早めに入手し、準備することが肝要である。

なお、入学申請は日本や外国で事前に行うことはできないので、正式には本人がマダガスカルに到着してから行うことになる。

アメリカンスクールのHPサイトにはコンタクト先が掲載されており、英語またはフランス語での事前の相談が可能である。また、Application Formもダウンロードできる。

子弟の教育については海外子女教育振興財団に問い合わせるのも一案。

< 海外子女教育振興財団 >

URL : <http://www.joes.or.jp/>

(4) 幼稚園

日本人子女の入学可能な幼稚園としては以下のところがある。



- ・Ecole Primaire Francaise (Maternelle)
- ・American School of Antananarivo (Pre-Kindergarten)

14-2 教育関係施設

(1) 図書館など

Hotel Carlton(ホテル・カールトン)の隣にあるTranombokim-Pirena(国立図書館)を利用することができる。また、各国の文化センターに付帯する図書館がある。



< 図書館 >

・Tranombokim-Pirena(国立図書館)

< 文化センター >

・Alliance Francaise de Tananarive

・Centre Culturel Albert Camus(CCAC)

・Centre Culturel Americain

・Cercle Germano-Malagasy

15. 家庭の使用人



15-1 一般事情

アンタナナリボに住む外国人や上流家庭では、運転手、家政婦/夫、庭師、夜警を雇用している。それぞれの求人方法は、前任者の使用人をそのまま引き継ぐか、すでに雇用している使用人の家族や知人から紹介してもらい、新聞広告で見つけるなどの方法が多い。

フランス語の理解レベルは人によって異なるので、雇用時に確認したほうが良い。また、仕事の理解レベルも人によってさまざまなので、それぞれの仕事については、そのつど作業の指示を与えることが必要である。

雇用にあたっては十分に信頼のおける人材を確保し、契約・解約の際は当国の法律に沿った形で文書を締結する。例えば運転手の場合、外国の企業や公的機関、またはそれら団体の職員等のもとの勤務経験があることが望ましい。身分証明書等による身元確認を行っておくことも重要である。

なお、雇用人が盗みをはたらく事例や、不当解雇や名誉毀損などで外国人を訴える「ゆすりたかり」が発生している。当国の警察や法的機関の機能は極めて低いと、トラブルを生じないよう、自己責任において予防策を十分に行うこと。

15-2 運転手

(1) 雇用

雇用方法は使用人や知人の紹介、新聞広告の求人欄などによるが、身元がはっきりしていることが第一条件となるので、事前に履歴書などで十分に確認する、また紹介者を通して雇用する、などの方法が望ましいといえる。

実際に雇用する際には、面接・実技試験を行い、語学力を考慮する。可能であれば、以前の勤務先に勤務状態などを詳しく問い合わせるとよい。試用期間は1~3カ月程度とし、安全性を踏まえた運転レベルを確認したうえで本採用するか

どうかを審査したほうがよい。本採用にする際は、家庭の使用人と同様、雇用契約書を作成する。雇用条件はマダガスカル労働法に準じること。

また、1年以上勤務した場合はボーナスとして、クリスマスに1か月分の手当を支給するなどの心遣いが一般的である。

(2) 日常管理

出勤後の管理は人によって異なるが、例えば、出勤簿へのサイン、日常管理項目(車両の掃除、始業点検、燃料の有無、昨日の反省、本日の予定、修理など)をチェックさせる、などの方法がある。

運転手には、常に車のそばを離れないこと、第三者を車に乗せてはならないことを厳しく言うておくこと。また当然のことであるが、飲酒運転は厳禁とし、飲酒したら即刻解雇の処置をとる。

(3) 教育指導

服装、日常点検、運転マナー(特に客を同乗させる時の対応と運転)、車両整備、車両保管などについても、十分に教育したほうがよい。

(4) その他の留意点

マダガスカルの人々の運転技術は、一般にあまり高いとはいえない。常に安全運転を心がけるように促すとよい。給料の支払い時や、欠勤、休暇をとった時などは、書類にサインをしてもらうこと。

15-3 家政婦/夫

(1) 仕事の種類と人数

一般的には、家の掃除、洗濯、アイロンがけ、料理をするメイド1人を雇用している。このほかにも、家族の人数、家の大きさ、自宅での接客の頻度などによって、料理専門のコックや子供の世話専用のメイドを雇う家庭もある。

(2) 雇用

雇用方法は運転手と同様に、知人の紹介、新聞広告の求人欄などによる場合と、掃除婦を派遣する会社へ委託する場合がある。一般的には、住み込みではない。フランス語を理解できない人も多いので、事前に確認したほうが良い。

(3) 日常管理

作業を始める前やトイレを使用した後は、必ず手と足を石鹸で洗うように指導する。ユニホームは毎日着替えるようにし、爪や髪などにも気を配らせるほうがよい。雨季になると、ネズミ・ゴキブリ・ハエ・クモなどが多くなり、伝染病の原因となるので、時々、流し台、まな板、包丁、ゴミ箱などを消毒することを忘れてはならない。

15-4 庭師、ガードマン

警備員については、派遣会社がいくつか存在するので(連絡先はPart3イエローページ6。「警備員派遣会社」参照)、委託契約とするのが望ましい。個人で雇用



している人もいるが、警備員としての質はさまざまで、事前に十分な確認が必要である。一般家屋に住む場合は、24時間体制で警備する必要がある。

日常管理は運転手に準ずる。特に、警備員の行動には気をつけ、室内に貴重品を置かないこと。また、警備員に用事がある時でも室内に入れないようにすること。

庭師も人材派遣会社へ依頼する場合と、個人で雇用する場合があるが、いずれも条件や事前確認事項は同様である。

16. メディア



16-1 新聞、雑誌

(1) 現地発行の日刊紙

一般に外国人は、フランス語で書かれている「Midi-Madagascar」「Tribune」「Express」「La Gazette」「Les Nouvelles」などを入手している。日曜日を除き、道路際に毎日販売されている。料金は、1部300-600MGA(2011年9月現在)である。

(2) 日本の日刊紙

海外新聞普及(株)(OCS)に直接問い合わせ、購送の申し込みをする。日本またはヨーロッパから、7~10日遅れで入手できる。

< 海外新聞普及(株)(OCS) >

URL : <http://www.ocs.co.jp/>

(3) 欧米紙 / 誌

日本の日刊紙と同様、OCSに依頼して取り寄せるか、Hotel Colbert(ホテル・コルベール)または郵便局の前で入手できる。

(4) 日本の雑誌、書籍

日本の雑誌、書籍を購入できる書店はない。

16-2 ラジオ

(1) ラジオ放送局

マダガスカル国営放送局1局と、ラジオ・フランス・インターナショナル(RFI)で、マダガスカル語とフランス語の両方の放送が行われている。このほかにRTA、RDB、MaFMなど、アンタナナリボだけでも20局以上のFM局がある。地方にも独自の放送局がある。

(2) NHKワールド・ラジオ日本(ラジオジャパン)

NHKワールド・ラジオ日本のアフリカ向け放送を受信できる。周波数は随時変更されるので、周波数表を入手のうえ、確認すること。詳細は下記に問い合わせるとよい。

< NHKワールド・ラジオ日本問い合わせ先 >

NHK国際放送局国際編成部

電話：海外から：+81-3-3465-1111(平日/日本時間10:00~19:00)

日本国内から：0570-066066(NHK視聴者コールセンター/24時間受付)

Email：nhkworld@nhk.jp

<周波数表、番組表の入手>

URL：http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/top/index.html

(3)聴取可能なその他の外国放送

VOA、BBC、フランスなどの放送が聴ける。

16-3 テレビ

(1)地上波放送局

TVM(VHF帯)、MATV(UHF帯)、RTA(UHF)、TVRECORD、TV+、OTV、MBSの7局がある。いずれもフランス語かマダガスカル語の放送である。

放送時間は6:00~24:00。カラー放映で、ニュース、スポーツ、ドキュメンタリー、映画などが視聴可能である。

(2)衛星放送、ケーブルテレビなど

パラボナアンテナを装備するとTVF、TV5、CNNなども受信できる。

(3)テレビ受信

フランス向けのSecam DK(RTM)方式なので、日本国内仕様(NTSC)では受信できない。テレビ受像器は、市内の家電品店やスーパーマーケットなどでフランス製、日本製のものが購入できる。

17. スポーツ、 趣味、 語学学習



Yellow Page

17-1 スポーツ

(1)ゴルフ

日本人がよく利用するゴルフの施設には、Golf du Rovaがある(詳細はPart3 イエローページを参照)。

(2)テニス、フィットネス

日本人がよく利用するテニス施設、プール・フィットネス施設とスポーツ用品店は次のとおり。

Yellow Page

- ・ACSA(Amicale Culturelle et Sportive)
- ・Planete Sport
- ・Mondial Fitness
- ・DG Sport
- ・Club Olympique de Tananarive (COT)

17-2 趣味

該当情報なし。

17-3 語学学習

(1) 語学学習施設

Yellow Page フランス語、マダガスカル語ともにアリアンス・フランセ - ズで(詳細はPart3イエローページの25.「教育関連施設」を参照)個人・団体授業を行っている。

(2) 家庭教師

上記の語学学習施設にて出張個人レッスンを申し込み可能であるほか、個人で家庭教師を行っている語学教師もいる。いずれも基本的に教師はマダガスカル人である。

18. 観光



18-1 地方旅行の留意点

外国人が国内を旅行する上での規制・制約は、特にない。首都、地方を問わず、ホテルなどの支払いはマダガスカル・アリアリ(MGA)が一般的である。

治安状況は地方によって異なるので事前の情報収集を心がけること。地方旅行中の盗難、ひったくり、置き引きなどのほか、時に外国人を狙った強盗から端を発した殺人や傷害などの凶悪犯罪に巻き込まれることもあり得るので十分な注意が必要である。また、最近では政情不安な時期には、地方で政治集会や暴動が発生することもあるので、旅行などは中止するか、行く場合には事前及び滞在中に十分な情報収集を行うことが望ましい。

各都市の主な見どころは、市販のマダガスカル観光案内書各種(マダガスカル語、英語もしくはフランス語)に詳しく紹介されている。

首都アンタナナリボにはチンバザザ動植物公園があり、ワオキツネザル、ブラウンキツネザル、アイアイ、ホシガメなどがいる。そこにはマダガスカル動物・民族博物館が併設されており、エピオルニス(かつてマダガスカルに生息していた巨鳥。19世紀に絶滅)の化石などが見られる(ただし、2011年10月現在閉館中)。ほかには、アナラケリの市場やアンドラバンギの土産店(主に民芸品を取り扱っている)、空港近くのワニ園、女王宮の丘(女王宮は1995年11月6日火災被害により現在修復中)などが見どころである。

18-2 主要観光地・保養地

< NOSY BE (ヌシ・ベ) >

首都から飛行機で北へ約1時間の地にあるリゾート島である。マダガスカル有数の海洋保養観光地として有名である。マリンスポーツ、釣り、テニス、カジノなどを楽しむことができる。近隣の「ヌシ・コンバ島」には、野生のクロキツネザルが生息している。餌付けされているので、観光客も見ることができる。

また、ヌシ・タニケリ島では、海水浴やダイビング、カニのバーベキューなどが楽しめる。ホテルに依頼すると、島々を周遊するツアーを手配してもらえる。

< St. MARIE (サント・マリー島) >

首都から飛行機で東北東に約1時間。東海岸に位置するこの島は、ヌシ・ベに次ぐ海洋保養観光地である。リゾート設備が多く、マリンスポーツ、水泳、ウインドサーフィン、ダイビングなどが楽しめる。

毎年8～9月に行われるホエール・ウォッチングは圧巻である。

< Andasibe (アンダシベ) >

首都から車で、国道2号線を東へ約2時間半進んだところにアンダシベ自然保護区(自然林)があり、インドリ、アバヒ、ブラウンキツネザルなどの珍しい原猿類やカメレオンなどが見られる。

< Toamasina (トアマシナ) / Tamatave (フランス名タマタブ) >

首都から飛行機で東北東へ約45分、車を利用した場合は国道2号線を約6時間走ったところにある。マダガスカル最大の国際港がある。

新鮮な魚(種類は季節によって異なるが、タイ、サバ、カツオ、エビなど)が入手可能。入手する際は、携帯用クーラーボックスを持参すると良い。

< Mantasoa (マンタスア) >

首都から車で東へ約2時間、国道2号線を右折し、未舗装道路を約20km走ったところにある湖である。途中、山間部を走行するため景観もよく、ピクニックやドライブなどの週末の日帰りコースによい。湖畔にはホテル・エルミターージュがあり、付帯施設のレストランではマダガスカル人の生演奏を聴くことができる。なかでも、バリー八演奏はお薦めである。ほかにはテニスや乗馬、ペタンク、船遊びなどが楽しめる。

< Morondava (ムルンダヴァ) >

首都から飛行機で西南西へ約40分。マダガスカル特有のバオバブの群生が見られる。海水浴も楽しめる。

近郊のキリンディ保護区ではネズミキツネザルなどの原猿類が見られ、ダチョウの飼育施設もある。

< Toliara (トリアラ) / Tulear (フランス名チュレール) >

首都から飛行機で南西へ約1時間。近郊のサファリベズとイファティは観光地として有名である。

サファリベズは、トリアラから船で約1時間30分のところにある。ホテルでの宿泊、食事と、スキューバダイビングができる。ここのサンゴ礁は特に美しい。

イファティは、トリアラから車で約1時間のところにある。ホテルでの宿泊、食事、スキューバダイビング、釣り、ウインドサーフィンを楽しめる。

< Berenty (ベレンティ) >

首都から飛行機で南へ約1時間のトラニャロ(フランス名フォルドーファン)から、さらに車で西へ3時間ほど走ったところにある。自然保護区として、原猿類研究者には世界的に有名な場所である。ワオキツネザル、シファカ、ブラウンキツネザル、ネズミキツネザル、ホシガメ、ワニなどが生息している。

18-3 旅行代理店

地方を旅行する場合は、旅行代理店に航空券や宿泊などの手配をしてもらうほうが無難である。主な代理店は次のとおりである（詳細はPart3イエローページを参照）。



- ・ Arics
- ・ Madagascar Services
- ・ Madagascar Airtours
- ・ Transcontinents
- ・ Silver Wings
- ・ Voyages Bourdon
- ・ Mercure
- ・ Madagascar Discovery Agency
- ・ Cortez Expeditions

19. 私財の輸送、 引き取り、購入



19-1 家財道具

輸送期間、通関手続き、輸送中の紛失などを考えると、航空貨物にしたほうがよい。ただし、費用は割高である。

(1) 輸送会社

日本から輸送する場合は、日本の運送会社が輸入手続きまでの一切を手配することが多い。

マダガスカルから日本へ輸送する場合は、よく取り引きされている船積み会社に依頼するのも一案である。

日本から船便で送る場合の一般的な手順は次のとおりである。

送り主は、荷物の明細（品名、数量、金額、新品か中古かなど）と、推定重量を船積み会社に連絡し、指定倉庫に搬入する。船積み会社は荷物を確認後、輸出梱包（密閉梱包か透かし梱包かは打ち合わせの際に決定する）を行う。なお、手続きや費用の見積は船積み会社に依頼できる。

必要書類は、旅券の写し、航空券の写し、パッキングリスト（荷物の明細を英語またはフランス語訳したもの）、原産地証明書（荷物の内容によっては必要）である。

現地向けの船は、神戸・横浜から出航しており、通常は1カ月でトアマシナ港に到着する。前もって現地の会社の住所、電話、担当者などを調べておくとうい。

< 海上運賃と現地輸送会社 >

料金は「容積」または「重量」のどちらかで決定される。

All-In (Port Service Charge, BAF, CAF) で1立方mあたり290～350米ドル程度である。ただし、毎月変動するので船積み会社に確認すること。

現地の輸送会社も日本と同様の輸出入業務を行うため、帰国時はこれらの業

者を利用できる。料金は、品目・数量・荷姿(コンテナ・バラ梱包)によって異なる。

主な輸送会社は次のとおりである(詳細はPart3イエローページを参照)。

Yellow Page

- ・Auximad
- ・SDV Madagascar(SDV groupe Bollori-SCAC)
- ・SOTAM International Logistics
- ・TESSIOT - DEMENAGEMENTS MADAGASCAR

(2) 輸入手続き

輸入に必要な書類は、日本から送られてきたB/L(3通)、インボイス、パッキングリスト、保険証券(保険をかけている場合)、マダガスカル外務省から入手した使途証明書である。荷受人は、通関の専門会社に上記書類を渡したあと、税関で通関に必要な査証、荷物検査を受ける。

引越し荷物(一般家庭用品、車、テレビ、ビデオ、レンジ、部品など)は、着任後6カ月以内に輸入しないと課税対象になる。食料品、衣類などの私物はすべて課税対象である。業務用品や技術指導に必要な機材などは、着任後6カ月を過ぎても無税輸入が可能である。

(3) 輸入貨物の受け取り港

船便の場合は東海岸のトアマシナ港、航空便の場合はイヴァト国際空港である。

19-2 自動車

(1) 一般状況

交通事情、道路状態が悪いため、自家用車は四輪駆動車が有効であるが、活用方法によっては四輪駆動でなくても充分有用である。

(2) 輸入手続き

新車・中古車とも、輸入に必要な書類は家財道具と同じである。ただし中古車の場合は、日本での「登録抹消証明書」の英文が必要である。(登録抹消証明書は手配業者に英語の書類作成を依頼することも出来るが、事前に確認が必要) 輸入手続きは時間を要するので、先述の輸送業者に一任することを勧める。また輸入完了後は車輛登録等の手続きを行う必要があり、車輛の港への到着から当国での走行が可能となるまでに1～数ヶ月を要する。

近年は右ハンドル車の輸入を規制する動きがあり、禁止になった場合は日本からの右ハンドル車の輸入が困難となる可能性がある。現地の運転手にとっても右ハンドルでの運転には慣れや技術を要するため、日本から自家用車を輸入する場合は、極力左ハンドル車の取得を勧める。

(3) 現地での購入

当国において車の売買や譲受を行う場合は、日本人・マダガスカル人に関わらず、契約締結とそれに伴う役所での手続きや関係省庁に対する名義変更申請などの手続きが不可欠となるため、可能なかぎり早期に準備を開始する必要がある。

ある。

中古車を購入する場合、一定規模の取扱業者が存在しないため、一般に個人から購入することとなるが、その場合双方の話し合いで条件を決める。中古車は日本より割高である。

代理店から新車を購入する際、店頭で展示されている車は輸入税を含んでいる価格である。

入手にかかる費用は、車種やオプションによって大きく異なる。保険加入、登録などは代理店に依頼できる場合もあるようだが、基本的には購入者自身が行うことになる。事前に購入条件と費用を確認すること。

(4) 自動車登録

購入先、代理店に依頼して行うことができる。

(5) 免許証取得

日本の免許証で運転することはできないので、自ら運転することを考えている人はマダガスカルの免許証を取得するのが賢明である。手続きに要するものは、日本の免許証と日本大使館発行による翻訳証明書、または国際免許証(英語または仏語で記載)、写真(パスポートサイズ)3-4枚である。必要書類をそろえて、自身で外務省へ申請する。

国際免許証でも運転は可能であるが、地方では認知度が低いため、万一の場合トラブルになる可能性もある。

現地の自動車学校では、1日15分の路上運転を10時間、学科を20時間修了すれば免許が取得できる。

自動車学校は次のとおりである(詳細はPart3イエローページを参照)。



- ・Auto Ecole Tri-H
- ・Auto Victor

(6) 保険、税金

自動車保険については、人身事故賠償のみの保険から、すべてのリスクに対応する保険まで多種ある。

かつて、重量税にあたるもの(VIGNETTEという)があったが、2008年1月以降廃止されているため、毎年支払い義務が生じる税金のようなものはない。

保険会社は、次のとおりである。



- ・Assurances Ny Havana
- ・Assurances Aro
- ・Societe COLINA Madagascar S.A.

20. 地方都市



首都を除く主要地方都市は、人口数十万人の都市である。

< Antsirana (アンチラナ) / フランス名 Diego Suarez (ディエゴ・スアレス) >

マダガスカル最北端の町。ディエゴ・スアレスと呼ばれる第三の貿易港である。フランス・スペイン共同のマグロ・カツオ大型巻き網船の基地である。また、湾内に第2次世界大戦当時の、日本の特殊潜航艇が沈んでいることで有名。これは日本のテレビでもたびたび紹介され、慰霊碑も建立されている。

< Mahajanga (マハジャンガ) / フランス名 Majunga (マジュンガ) >

アラビア語源ではマジュンガ(花の町)と呼ばれる、サカラバ部族の拠点である。ロータリーには直径7mになる巨大なバオブアが鎮座している。また、マダガスカル最大のエビ漁の基地であり、第二の貿易港でもある。

近郊では、釣りやイノシシ狩り、鍾乳洞巡りが楽しめる。車で2時間ほどの所、アンカラファンチカ保護区に隣接した森林保護区で原猿類を見ることができる。

< Toamasina (トアマシナ) / フランス名 Tamatave (タマタブ) >

トアマシナは、マダガスカル語で「塩辛い水」を意味する。現地最大の貿易港である。マダガスカルの主要輸出入産品は、ほぼこの港を経由する。また、マダガスカル最大規模の石油精錬所がある。

< Antsirabe (アンチラベ) >

首都から南へ下ったところにある宿場町である。豊穡な土地で、農業が発達しており、野菜類、ブドウ、綿栽培、タバコなどが生産されている。また、ビール(THB)、ワイン(アンチラベ・グランクリュ)の醸造工場や、湯治場があることでも有名。

この町のアベマリア産院には長年にわたり奉仕活動をしている日本人シスターがいる。このシスターの前任の人をモデルにした小説が、曾野綾子作の『時のとまった赤ん坊』である。

< Fianarantsoa (フィアナランツア) >

ベツィレウ族の町のひとつである。農業が盛んで、米、コーヒー、ブドウの産地である。マダガスカルで有名なベチレオ・ワインは、ここで産出される。ここからナンジャリ(国道25号線)方面に60kmほど行ったところに、ラヌマファナ国立自然公園がある。4万haを超える広大な敷地には、キンイロジェントルキツネザルなど12種類のキツネザル、97種類の鳥類、カメレオン、トカゲ、蝶類などが生息している。

< Morondava (ムルンダヴァ) >

西海岸に面する港町である。ここは、小規模な帆船による物資輸送基地で、トリアラ、マハジャンガ方面へ回送している。また、バオブア並木道が非常に有名で、数種類のバオブアが見られる。世界遺産に指定されているチンギ・ド・ベマラハ自然保護区への入口で、ここからのツアーもある。

< Toliara (トリアラ) / フランス名 Tulear (チュレアール) >

南西部に位置する港町である。南回帰線が通過しており、色とりどりのサンゴ

の土産品で有名である。ここから26kmほど北のイファティという町は、サンゴ礁で有名な観光地である。バンガローも完備されており、海洋レジャーが楽しめる。内陸方面には、風水による浸食を受けた奇岩群の景観が素晴らしいイシャル山地がある。

< Tolagnaro(トラニャロ) / フランス名Fort-Dauphin(フォールドーファン) >

マダガスカル最南端の港町である。この付近の海域は、伊勢エビの漁場として有名である。サイザル麻は、このあたりの特産品である。この町からベレンティ自然保護区へ行く途中に、巨大プランテーションが見られる。

ベレンティ自然保護区では、ワオキツネザルの大群や、横飛び歩きで有名なペロシファカなど、数種のキツネザル類やハウシャガメ(ホシガメ)、ワニなどが見られる。また、近辺には、世界最大のダチョウ(絶滅種のエビオルニス)の卵が散乱する海辺もある。

Part 3 イエローページ

特に記載がない限り、JICA事務所があるアンタナナリボの情報が中心になっています。
1円=約25MGA(アリアリ)、1ユーロ(EURO)=約2,780MGA、1米ドル=約1,920MGA(2011年10月)

1. JICA 事務所

所在地	Lot G 203, Rue Rainizanabololona, Antanimena, Antananarivo 101 Madagascar
郵便物宛	B.P.7552 Antananarivo, Madagascar
TEL/FAX	TEL: 22-300-13/ 22-300-17/ 22-300-35 FAX: +261-20-22-300-19
E-mail	mr_oso_rep@jica.go.jp(事務所代表・日本語可)、jicamr-ad@jica.go.jp(総務担当)

2. 日本大使館

所在地	Villa Chrysantheme, Ambohitovolo-Analamahitsy, Antananarivo
郵便物宛先	B.P. 3863 Antananarivo, Madagascar
TEL	TEL: 22-493-57

3. 緊急連絡先電話番号

日本大使館	TEL: 22-493-57
警察	TEL: 117
消防・救急車	TEL: 118

4. ホテル 表示料金は 2011 年 10 月現在のもの。MASTER=Master Card、AMEX=American Express。

■Hotel Carlton(ホテル・カールトン)

Rue Pierre Stibbe B.P.959
TEL: 22-260-60 FAX: 22-260-51
料金: Standard Single 185 ~ 315 EUR、Standard Double/Lux Single 205 ~ 335 EUR。 VISA、Diners、AMEX 使用可。
アヌシ湖の脇にあり、官庁街へのアクセスがよい。

■Hotel Colbert(ホテル・コルベール)

Rue Prince Ratsimamanga B.P.341
TEL: 22-202-02 FAX: 22-340-12、22-254-97
料金: Standard 98 ~ 118 EUR、Luxe 211 EUR +5,000 MGA(宿泊税) VISA、MASTER、AMEX 使用可。マダガスカル居住者向け割引レートあり。
新館地下にある“バルネオフォーム”には、室内(温)プール、サウナ、フィットネスクラブ、マッサージなどの設備あり。カジノもある。

■Hotel Ibis(ホテル・イビス)

Rue des Hydrocarbures, Ankorondrano, B.P.529
TEL: 020-23-555-55, 032-23-555-55 FAX: 020-23-555-56
料金: Standard 86 EUR, Superieur 159 EUR, 朝食 10 EUR
2009 年 7 月オープン。ミニバー、インターネット接続端子、金庫、シャワーが完備されているが、バスタブはない。会議室(30 m ²)、温水プール、レストラン、バー併設。

■Hotel du Louvre(ホテル・ドルーブル)

Place de l'Independance, Antaninarenina
TEL: 22-390-00 FAX: 22-640-40
料金: Standard Single 60 EUR、Double は + 18,900 MGA。 宿泊税 5,000 MGA。 VISA、MASTER、AMEX 使用可。
1998 年オープン。2002 年にホテル・イビスからホテル・ドルーブルに改名された。

■Radama Hotel(ラダマ・ホテル)

22, Avenue de Grandidier, Isoraka
TEL: 22-319-27 FAX: 22-353-23
料金: 120,000 MGA(宿泊税込み)。 VISA、MASTER 使用可。
1F にマダガスカル料理のレストラン、TATAO がある。

■Hotel Panorama(ホテル・パノラマ)

Route d'Andrainarivo B.P.756
TEL: 22-412-44 FAX: 22-412-47

料金:202,000 MGA(宿泊税込み) VISA 使用可。

その名のとおりパノラマビューで景色は良いが、街中からは遠く、周りにレストランや商店などもないためやや不便。

■Hotel de France(ホテル・ド・フランス)

34. Avenue de l'Independance

TEL:22-213-04 FAX:22-201-18

料金:Standard Single 87 EUR, Standard Double 92 EUR, 宿泊税 5,000 MGA,

30 室。2 つのレストラン(インターナショナル料理の Oh! Poivre Vert とフランス料理の La Brasserie, Le Bistrot)がある。

■Sunny Garden(サニーガーデン)

Route des Hydrocarbures, Ankorondrano

TEL:22 323 85 / 033 11 323 85 FAX:22 368 29

料金:朝食つき料金 Single 163,196 ~ 150,642 MGA, Suite 175,750 MGA, Familiale 277,433 MGA + 5,000 MGA(宿泊税)。VISA, MASTER 使用可。

JICA 事務所から車で約 5 ~ 10 分。大型スーパー JUMBO SCORE が近い。

■Palissandre Hotel & Spa (パリサンドラ・ホテル)

13. Rue Andriandahifotsy, Faravohitra, Antananarivo101

TEL:22-605-60 FAX:22-605-60

料金:Single 80 ~ 115 EUR, Double 87 ~ 125 EUR, VISA, MASTER 使用可。

アナラケリー市場の近くにあるホテル。1F レストランのテラスからはアナラケリー市場が見える。スパも併設している。

■Sakamanga (サカマンガ)

Rue Andrianary Ratianarivo Ampasamadinika

TEL:22 358 09 FAX:22 245 87

料金:35 ~ 136 EUR, VISA, Master 使用可(手数料 3.6%)、トラベラーズチェック支払可(手数料 3.6%)

周辺には銀行や商店、レストランなども多数ある。

■Residence du Rova(レジダンス・デュ・ルーバ)

En face stèle Ratsimandrava B.P.1469

TEL:22-341-49 FAX:22-239-12

料金:2 部屋タイプ 187,800 MGA, 3 部屋タイプ 216,400MGA, 3 部屋タイプ(76 m²)いずれも 1,000MGA/日の宿泊税が加算される。駐車場は 8,250Ar/日。

滞在期間が長期になるほど料金が安くなる「長期滞在用ホテル兼アパート」。家具、キッチン付き。タオルやシーツの交換あり。

■Hotel Tamboho(ホテル・タンブフ)

Tana Waterfront, Ambodivona

TEL:22-693-00 FAX:22-327-75

料金:Standard Single 95 EUR, Supérieur 110 EUR(同 90EUR)。VISA, MASTER 使用可。

2009 年オープン。ホテル・ド・ルーブルの系列であり、スタイリッシュなレストランが併設されている。JICA 事務所近くのショッピングセンターである「Waterfront」の中にあり、事務所へのアクセスは便利。Supérieur は Standard より面積がやや広め。

■Appart Hotel Besoa (ホテル・ベソア)

TEL:22-210-63

料金:150,000 ~ 200,000 MGA

アパートメントホテル。1 ベッドルーム(100 m²)125,000 MGA, 2 ベッドルーム(120 m²)225,000 ~ 250,000 MGA の選択可。宿泊税 1,000 MGA/日。シャワーのみ。

■Hotel Besoa (ホテル・ベソア)

58 Av Général Ramanantsoa, Isoraka

TEL:22-248-07 FAX:22-630-69

料金:Studio 60,000 MGA または 75,000 MGA(改装した部屋)、2 ベッドルーム 94,000 MGA または 105,000 MGA(改装した部屋)

Isoraka 中心街にあるアパートメントホテル。シンプルだが清潔。ワンルームタイプが主。湯船あり。セキュリティーも問題ない。暖房がないため 5 ~ 6 月は室内がやや冷え

る。

5. 不動産会社

■Immobilier Conseil Gestion

11, Rue Radama 1er Tsaralalana
TEL : 22-320-75 FAX : 22-349-11

■Austral Immobilier

13, Avenue de l'Independance B.P.1351
TEL : 22-289-48/626-25 FAX : 22-289-25

■Guy Hoquet Tana

Water Front B.P.12012
TEL : 22-345-89 FAX : 22-421-01

■Promo Tana

77, Rue Rainandriamampandry, Ambondrona
TEL : 22-617-50/51 FAX : 22-617-51

6. 警備員派遣会社

■G4S

Lot II N 172 Ivandry - Villa Clara
B.P.12052 Zoom Ankorondrano
TEL : 22-537-74 FAX : 22-537-61

■VESTA Sarl

Lot W 28 C Ampasanimalo
TEL : 22-317-87, TEL/FAX : 22-223 43

■SSSM

Lot II N 40 ABA Analamahitsy TEL : 22-415-45/ 22-491-63, 033-11-658-77 (携帯)
FAX : 22-490-76

■SPS

Lot VC3 Ankorahotra 165, Route Cerculaire Ambanidia
TEL : 22-622-02/ 24-554-10/ 24-560-52

■DSK PK

12 Route d'Ivato
TEL : 22-451-35 FAX : 22-318-46

■MADA VIGILE

Lot II B 42 Ter Amboditsiry
TEL : 22-528-55, 033-02-463-23/12-043-71 (携帯)

■RG Securite

Villa 15 janvier Androhibe
TEL : 22-531-30

■SAS

20, Rue de Russie Isoraka, B.P.8019
TEL : 22-239-24 FAX : 22-258-93

7. 美容室、理容室

■Salon de Coiffure Carlton

TEL : 22-260-60
営業時間: 月～金。月曜日は午後から、日曜日は休み。
ホテル内にある美容室兼理髪店。子供も利用できる。

■TARA'S

Immeuble Millenium Ivandry
TEL : 22-436-55
営業時間: 月～土 9:00～18:30

■Amazones

Route circulaire TEL : 22-568-99
Smart Tanjombato TEL : 22-462-12
営業時間: 月～土 9:00～18:00

8. 飲食店

< 中国料理 >

■Le Dun Huang(敦煌)	1 Rue James Andrianisa, Analakely TEL : 22-669-65 FAX : 22-669-67 独立大通りからすぐ、スーパーマーケット Shoprite の隣。個室やカラオケあり。
■Le Shandon(山東)	TEL : 22-319-81 Espace de Verre, Village des Jeux, Ankorondrano Hotel Sunny Garden から徒歩 10 分ほど。
■La Musique	Lot III D4 bis, Antanimena TEL : 22-336-04 FAX : 22-336-04 JICA 事務所の近く。日曜は飲茶がある。
■Le Grand Orient(大東)	Soarano TEL : 22-202-88
■La Jonquille	Soarano, 7, Rue Rabezavana TEL : 22-206-37 JICA 事務所から徒歩 7 分程度。
■Le Shangai(上海)	4, Rue Rainitovo, Antsahavola TEL : 22-314-72 FAX : 22-0315-61 アメリカ大使館近くのホテルにある。
■Muraille de Chine(長城飯店)	1, Avenue de l'Independence, Soarano TEL : 22-230-13/628-82 FAX : 22-292-99 独立大通りにある。鍋物ができる。
■Restaurant de Chine(中国飯店)	TEL : 22-385-89 MADPRINT という印刷屋の右隣。個室がある。
■La Perle(パール)	Route Circulaire TEL : 033-11-898-89 ドイツ大使館近く。鍋も楽しめる。
■Jim	Lot III N 77, Bl. Ratsimandrava, Soanierana 中心部からは離れているが、店内は広々として大人数での宴会が可能。値段はやや高め。
< 韓国料理 >	
■ARIRANG	Lot IA 62, Isoraka 家庭的な雰囲気の韓国料理店。
■Seoul Hotel	Andavamamba TEL : 26-093-18 アリアンス・フランセーズ近く。安くておいしい。カラオケボックスもある (20.000MGA/hr)。
■New KOREA	Ivandry TEL : 28-280-60, 033-14-088-22(携帯) 日本大使館とアメリカン・スクールの近くにある韓国料理店。店内は明るく、家庭的な雰囲気。月曜・祭日休み。

< フランス料理 >

-
- La Taverne
Hotel Colbert (ホテル・コルベール)内
TEL: 22-202-02
ワインリストが充実した、アンタナナリボでの最高級フランス料理店。日曜日の夜は休み。
-
- La Varanque
17, Rue Printsy Ratsimamanga
TEL: 22-273-97, 22-251-74
アンティークが部屋中に飾られており、サービスも良い。料理は少し高めだが美味しい。テラスでの食事が気持ち良い。
ホテルとしての宿泊施設もある。
-
- La Boussole
21, Rue Dr. Villette, Isoraka
TEL: 22-358-10
ほどよくカジュアルな仏料理店。雰囲気良く、料理も美味しい。
-
- Le Rossini
Lot IB 78 Isoraka
TEL: 22-342-44
古い洋館を改装した仏料理店。
-
- Le KUDÉTA
16, Rue de la Réunion, Isoraka
TEL: 22-281-54
ホテルに併設されたレストラン。夜はすぐに満席になるのであらかじめ予約をしたほうが良い。
-
- Palissandre
13, Rue Andriandahifotsy, Faravohitra
TEL: 22-605-60 FAX: 22-605-60
ホテルに併設されたレストラン。テラスからはアナラケリー市場が見下ろせる。天気の良い日には気持ちいい。
-
- Le Petit Verdot
27, Rue Samuel Rahamefy, Ambatonakanqa
TEL: 22-392-34
ワインバーも兼ねるピストロ。小ぢんまりとして隠れ家的な雰囲気。
-
- Hôtel de France / O! Poivre Vert / La Brasserie / Le Bistrot
TEL: 22-213-04 FAX: 22-201-08
独立大通りに面したホテル1階のピストロ。生の地ビールが飲める。メインはやや量が多め。つまみのピーナッツも美味しい。
-
- Hôtel Tana Plaza / L'Avenue
TEL: 22-218-65
Avenue de l'Indépendance
独立大通り、駅前のホテル。レストランが併設されており、ビュッフェ等のサービスがある。
-
- Hôtel Sakamanga
Lot IBK7bis Rue Rationarivo, Ampasamadinika
TEL: 22-358-09
ホテル奥のバー・レストランにはテラスもあり、曜日にもよるが、ランチビュッフェが11000 ~ 16000MGA で楽しめる。

ホテル入り口すぐの2階のレストランは少し高めだが雰囲気がよい。また隣のスナックではピザやシャワルマなどを気軽に食べられる。
-
- Restaurant Tamboho
Tana Waterfront, Ambodivona
TEL: 22-693-00 FAX: 22-327-75
2009年にオープンした同名のホテルに併設されたレストラン。スタイリッシュで明るめの内装。
-
- Les 3 Métis
Antaninandro 3^{ème} Arrondissement
TEL: 22-359-83 / 033-05-520-20
-

ホテルの中のレストラン。テラス席もある

■Le B

72 Av. Grand Didier Isoraka

TEL: 26-340-49

雰囲気の良いバー・レストラン。

■Le Glacier

46. Av. d'Independence. Analakely

TEL: 22-202-60 / 22-291-04

独立大通りにあり、外国人で賑わっている。

< インターナショナル料理 >

■Ristorante Nerone

28. Rue Ratsimilaho. Ambtonakanga

TEL: 22-231-18

ホテル・コルベールの裏手にある本格イタリアンのお店。

■Chalet des Roses

13. Rue de l'Auximad. Antsahavola

TEL: 22-642-33

アメリカ大使館の近くにある。比較のカジュアルなレストラン。

■Chez Lorenzo

Androhibe. Antananarivo (Ivandry, Orchidée Blanche の先)

TEL: 22-427-76

6 テーブルほどの小さめのカジュアルなレストラン。パスタ、ピザともに美味しい。インターネットの使えるゲストハウスも隣接している模様。

< インターナショナル料理 >

■A TABLE

Ambatonakanga

TEL: 033-230-26-06

グリル料理やクレオール料理の店。

■Palladio's Cafe

Ivandry

TEL: 22-533-49

■INDIGO

Isoraka

TEL: 22-533-49

メキシコ、レバノン、モロッコなどのさまざまな料理が楽しめる

■La Villa

Ivandry, DHL の近く

TEL: 033-11-320-10 / 032-51-786-47

フレンチ、マグレブなど多国籍料理のレストラン。落ち着いた雰囲気の中、モロッコ料理やピザを味わえる。

■La Villa Vanille

Place Antanimena

TEL: 22-205-15

JICA 事務所のあるビルから徒歩 1 分。バニラソースをあしらった料理が名物。金曜日は生バンドの歌と演奏がある。

■Le Relais de la Haute Ville

Lot Vk 24 Ambohimano

TEL: 22-604-58 / 032-04-710-72 / 033-11-755-42

マダガスカル料理・フランス料理。マダガスカル料理 4 種を選んで楽しめる dégustation のメニューもある (25000MGA)。

女王宮に向かう途中の高台にあり、テラスからの眺めが良い。

■La Rotonde

Lot II M 53 Ter Mahavoky, Besarety, Hotel GREGOIRE 内

TEL: 22-222-66, 22-674-63, 22-674-64 FAX: 22-292-71

魚介類のレストラン。伝統料理やフレンチも味わえる。

■SAWASDEE Restaurant Thai Food

Lot II W 26 N Antorahotra (場外馬券販売所 (Jeux PMU) の隣)

TEL : 22-347-18.

本格的なタイ料理が味わえるレストラン。タイマッサージもある。

■OZONE

IBK 56. Av Général Ramanantsoa. Isoraka

TEL : 24-749-73

Hotel Besoa II の隣に 2009 年にオープンしたタイ料理レストラン。お洒落な内装でカラオケもあり、夕方以降はバーとしても利用できる。

■AU TRIPORTEUR

Andrainarivo

TEL : 22-414-49. 032 61-664-54

フランス人シェフが切り盛りする家庭的な店。前菜(ビュッフェ)、メイン、デザートで 25000MGA のお任せコース。ビュッフェでは地中海各国の家庭料理が楽しめる。日曜夜から火曜昼まで休み。予約必須。

< インド料理 >

■Shalimar

5. Lalana Mahafaka. Tsaralalana

TEL : 22-260-70 / 22-640-03

■Aniary

Angle rues de liège et Deslyon. Tsaralalana

TEL : 22-244 09 / 033-11-233-27

Anjary Hotel の最上階にあるレストラン。同じ階にマッサージ店もある。

■Terrasse Exotic

Il M 47 Ter Analamahitsy

TEL : 033-11-358-29. 032-42-361-65

Aniary の姉妹店。

■Le Jardin du Raphia

Lot V C 17 bus. Ambatonakanga

TEL : 22-253-13

■Amai

Lot IVR 97. Antanimena

TEL : 033-07-860-00

2009 年にオープンしたインド料理店。JICA 事務所から徒歩 5 ~ 10 分。出前サービスもある。

< マダガスカル料理 >

■Chez Mariette

11 Rue George . Faravohitra

TEL : 22-216-02

高級マダガスカル料理。49,000MGA のシェフお任せコースのみ。予約必須。

■Chez Sucett's

23. rue Raveloav. Isoraka

TEL : 22-261-00

マダガスカル料理、クレオール料理が食べられる。生ビールもある。

■Grill de Rova

TEL : 22-627-24

グリル料理、マダガスカル料理が食べられる。

女王宮の 100m 手前にあり、テラスからの眺めが良い。日曜日の昼は生バンド演奏がある？

営業時間: 月 ~ 金 10 : 00 ~ 18 : 00

■Tsiky Restaurant

12 Rue Ramelina Andohan Analakely

TEL : 22-283-87. 032-02-679-01 (携帯)

本格マダガスカル料理店。日曜日と祭日は休み。

■TATAO

22. av. du Général Ramanantsoa. Isoraka

TEL : 22-319-27 / 032 07 180 80

RADAMA ホテルに併設された本格マダガスカル料理店。盛り合わせ料理が人気。

■NIKA

Immeuble Santa, Antanimena

TEL : 22-291-24

JICA 事務所から徒歩 2 分。比較的小ざれいで簡単な洋食も注文できる

<カフェ、軽食>

■Honey – Salon de thé - Glacier

Indépendance 店 TEL : 22-621-67 / 22-318-58

13. av. de Indépendance, Analakely

Espace conquête Antanimena 店 TEL : 22-318-58

営業時間: 月 ~ 土 9 : 00 ~ 18 : 30

■Blanche Neige

15. av. de l'Indépendance, Analakely

TEL : 22-206-59

ワッフルやパティスリーなどがある。

営業時間: 月 ~ 土 9 : 00 ~ 18 : 30

■Cookie Shop

Antanimena

JICA 事務所の近く。ベーグルサンドやケーキ、コーヒー、シェイクなどがあるアメリカンテイストのお店。

営業時間: 月 ~ 土 9 : 00 ~ 19 : 00

■Happy King

Villa Pradon, Antanimena

JICA 事務所が入っているビルの 2 階、ハンバーガーショップ。

9. スーパーマーケットほか <スーパーマーケット>

■Jumbo Score

Ankorondrano 店 TEL : 22-684-56 FAX : 22-684-59

Route Digue de l'lkopa 店 TEL : 22-007-50 FAX : 22-323-08

Tanjombato 店

営業時間: 月 ~ 土 9 : 00 ~ 19 : 00、日曜日は 9 : 00 ~ 13 : 00。

■Shoprite

Analakely 店 TEL : 22-360-89

Andravoahangy 店 TEL : 22-254-82

Ampefiloha 店 TEL : 22-288-86

Water Front Ambodivona 店 TEL : 22-368-45

Talatamaty 店 TEL : 22-485-49

Ampasanimalo 店

営業時間: 8 : 30 ~ 19 : 30、日曜日 9 : 00 ~ 13 : 00

■Leaderprice

Ankorondrano 店

TEL/FAX : 22-627-97

営業時間: 9 : 00 ~ 20 : 00、日曜日は 9 : 00 ~ 13 : 00。

このほか、Ankadimbahoaka 店と Andranomena 店がある。

■Super Market

Anbohijatovo トンネルを出てすぐ右手。中国人がオーナーの店で、中華のスパイスや中国米も買える。

■Aliment Import

Immeuble Santa, Antanimena

営業時間: 月 ~ 金 8 : 30 ~ 18 : 00、土 8 : 30 ~ 12 : 00

中華、インド、タイなどの輸入食材店。醤油、みりん、めんつゆなどの日本の調味料も手に入る。時折中国米やタイ産の日本米が入荷される。JICA 事務所から徒歩 2 分。

■Shopliantsoa

Dans l'Espace Conquête, Antanimena

TEL : 032-11-32-51

小さなスーパー。

<パン屋>

- Boulanquerie de Millenium
Ivandry
おいしいフランスパンのほか、サンドイッチも注文できる。カフェスペースでスナック等の軽食が取れる。
- La Gerbe d'Or(ラ・ジェルブ・ドール)
11, Lalana Andriba, Mahamasina
TEL : 22-263-67
マハマシナ競技場前。Lunch という食パンが買える。
- L'Art Blanc
Immeuble Millenium, Ivandry
TEL : 22-422-20
営業時間: 月曜日～土曜日 6:30～19:30、日曜日は 07:30～13:00
バゲットがおいしい。プロシュートなどの食料品も販売している。
- Le Grillon(ル・グリオン)
Lot II L 111ED Ankorondrano
TEL : 22-328-90
営業時間: 6:30～12:30、15:00～19:00、日曜日は 6:00～12:30。
- Patisserie Colbert
Hotel Colbert(ホテル・コルベール)内
TEL : 22-219-52
営業時間: 6:30～19:00
ケーキ、チョコレート、ジェラートもある。
- Pro Pain
Analakery, Behoririka, Antsahabe などにある。
Pain ancien がおいしい。

10.家電製品店

- COURTS
Zone Zital Ankorondrano B.P.12197 店
TEL : 22-550-24 FAX: 22-550-33
家電製品も家具も同時に揃う。分割払いシステムもある。
- MADA COMFORT
52, Avenue Andrianampoinimerina, Analakely
TEL : 22-378-54
独立大通りの近く。インド・韓国メーカーの冷蔵庫、ガスレンジ、洗濯機等が豊富に揃う。
- SARAFI
42, Avenue de l'Independence, Analakely
TEL : 22-311-39, 22-205-29
独立大通りに面した店。フランスのメーカーの小型家電を中心に、電子レンジや冷蔵庫等も扱っている。
- Sided"Philips"
Lot III, N 76 bis Route d'Antsirabe, Soanierana
TEL : 22-268-78
- NAZA ELECTRONIC
35, Avenue de l'Independance, Analakely
TEL : 22-243-76

11.家具・寝具店

- Sept Prix Meuble
Analakely c/o Societe Bonnet et ses Fils
42, Avenue Andrianampoinimerina Analakely, B.P.605
TEL : 22-203-26 FAX: 22-222-53
- HAZOVATO
ZI Forello Taniombato, B.P.414
TEL : 22-462-75 / 22 350 05 / 22 351 60 FAX: 22-477-30 / 22 634 81
アトリエで展示即売している。注文生産も可能だが納品までに 1-2 ヶ月要する。配送はなく、自身で確保する必要がある。

■EUREKA Sarl

(1) Ankorondrano

(2) Route d'Androntra Ankadimbahoaka

TEL : 22-211-12/22-293-22 FAX : 22-304-99

2 店舗あり、カーテンやベッドリネンなどの布地及び既製品を扱う。(1)の Ankorondrano 店は Leaderprice 上の 2 階にある。Tanjombato 方面にある(2)の店は、布製品に加えて家具や家電も取り扱っている。

■SOMACOU

Pk 08 Route d'Ambohimanga, Ilafy

工場に隣接し、ベッドリネンやタオル等の綿製品を販売している。なお SOMACOU の製品は Jumbo Score や Supermarket でも購入可能。

■HOLLIWOOD CENTER / SICO

Route de la Digue

TEL : 033-11-766-44, 033-04-091-01

ソファセット、カーペット、ベッド等を扱っている。

■BALLOU interior & decoration

P.K. 3.5 Route de Maiunqa, Andraharo

TEL : 23-223-33, 23-602-70

ベッドマットレス、測り売りのカーペット、玄関マット等を取り扱っている。

■Carrefour des Ventes Alarobia

Route du stade Alarobia

中古家具を扱う店など、複数の店舗が集まっているスペース。

L'antiquaire de Tana TEL : 032-07-174-50

Couleurs du Monde TEL : 22-437-40

Carrefour des Ventes TEL : 033-14-334-43

SARL R.D.I. TEL : 032-40-682-40

■L'antiquaire de Tana

店舗: Carrefour de Ventes Alarobia 内, Waterfront, Behoririka

TEL : 032-07-174-50

アジアの中古家具や骨董を中心に扱う他、Behoririka の工房等で木製家具をオーダーすることも可能。

■Feronnerie d'Art

Lot II A 1 X Andranobeava (rond-point marais Masav)

TEL : 020-22-407-28

アイアン(鉄)製のランプやテーブル等を販売する店。天然石等と組み合わせたデザインもある。

12. 事務用品店

■BUROTEC

14. Rue Emile Raiohson Antsahavola

TEL : 22-262-59 FAX : 22-316-14

■ETABLISSEMENTS BRUNO AUDIER

12. Rue Patrice Lumumba Tsaralalana

■ESPACE LOISIRS

11. Rue Ratsumilaho Antaninarenina

TEL : 22-214-75 FAX : 22-618099

■LIBRAIRIE PAPETERIE DE LA GRANDE ILE

Centre Commercial Jumbo Score Route Digue

TEL : 22-336-90/22-320-34 FAX : 22-324-26

13. 工具・素材店

■Mr.Bricolage

Zone Industrielle Zital B.P.12028

■Weldom Bricobat SA

Route Digue de l'lkopa

TEL : 22-358-51

14. 銀行

■B.M.O.I.

VOG Building, 19, Rue Ratsimilaho, Antaninarenina, Antananarivo 101 (B.P.25)
TEL: 22-346-09 FAX: 22-346-10

営業時間: 月～金 8:00～16:00。土日休み。

アンタナナリボ市内に数箇所、地方ではタマタブ、マジュンガ、アンチラベ、アンチラナナ、サンババに支店がある。2011年10月現在のATM設置地区は以下のとおり。

- Antananarivo (Agences Antaninarenina, Hotel Carlton, JUMBO SCORE Ankorondrano, Village des Jeux Ankorondrano, Analamahitsy)

- Toamasina

- Diégo

- Tamatave

- Antsirabe

- Maiunga

■B.N.I./CA (Crédit Agricole)

74, Avenue 26 Juin 1960, Antananarivo 101 (B.P.174)

TEL: 22-239-51 FAX: 22-33-749

営業時間: 月～金 8:00～16:00。土日休み。

アンタナナリボ市内に数カ所のキャッシングポイントがある。

■B.F.V.-S.G.-Western Union

14, Avenue Jeneralv Rabehevitra, Antananarivo 101 (B.P.196)

TEL: 22-206-91 FAX: 22-371-40

営業時間: 月～金 8:00～16:00。土日休み。

各地方都市にも支店が数多くあり、アンタナナリボ市内のキャッシングポイントも多数存在する。

■B.O.A

2, Place de l'Independance, Antaninarenina, Antananarivo 101 (B.P.183)

TEL: 22-391-00 / 392-50 FAX: 22-294-08

営業時間: 月～金 8:00～15:30。土日休み。

口座開設の際には、BFV-SG 銀行と同様の書類のほか、銀行のディレクター宛てに開設願いを文書で提出する。

■M.C.B.

Antsahavola, Antananarivo 101 (B.P. 197)

TEL: 22-272-62 FAX: 22-287-40

営業時間: 月～金 8:30～16:00。土日休み。

口座開設時の必要書類は BOA 銀行と同様。

15. レンタカー会社

■Société SUNTOUR (TOYOTA Rasetta)

Behoririka

TEL: 22-257-70 FAX: 22-224-47

トヨタ車販売代理店が経営するレンタカー会社なので四輪駆動車を多く取り揃えている。

■AVIS (アヴィ)

Route Maiunga, Andraharo, B.P.139, Antananarivo 101

TEL: 22-204-35/618-12, 032-05-000-30 (携帯電話) FAX: 22-216-57/614-62

レンタル料金は他社に比べて高い。

■Europcar-Mada Rent (ユーロップカー)

Zone Industrielle Ankorondrano B.P.8243

TEL: 22-336-47 FAX: 22-311-65

■Hertz (ヘルツ)

TEL: 22-229-61 FAX: 22-336-73

16. 地図の購入

■国土地理院 (FTM)

Rue Dama-Ntsoa RJB Ambanidia B.P.323

 TEL : 22-229-35 FAX : 22-252-64

 17.自動車修理工場

 ■TOYOTA Rasetta (トヨタ)

 Lot E 92 Soarano, Antananarivo
 TEL : 22-257-70

 ■TOYOTA Sorafils(Ivato)(トヨタ)

 ■Sicam (Analakely) (三菱、スズキ)

 17, Rue Rabefiraisana Analakely, B.P.44
 TEL : 22-229-61 FAX : 22-293-37

 ■Ocean Trade Co. (Andraharo) (マツダ、ダイハツ)

 Route de Maiunqa, Andraharo, B.P.21bis
 TEL : 22-303-03/316-29 FAX : 22-303-30

 ■Madagascar Automobile = Madauto (Andraharo) (日産)

 Rue Dr. Rasetta Andraharo, B.P.350
 TEL : 22-254-54 FAX : 22-333-26

 18.電話会社 < 固定電話 >

 ■TELECOM MALAGASY (Telma)

 Alorobia 101 Antananarivo,
 TEL : 25-427-05 FAX : 22-538-71

固定電話なので、家を借りた際にすでに電話が設置されていれば名義変更など行うのみ。新たに電話線を引く時は、申請書を提出するが、電話線が満杯でなかなか引けないケースが多い。

 < 携帯電話 >

 ■Airtel

 Explorer Business Park, Ankorondrano, Antananarivo 101
 TEL : 033-11-001-00 (代表) FAX : 22-374-23

プリペイドカードを使用する場合には、携帯電話機を購入するだけだが、月極め契約をする場合には申込書に必要事項を記入する。

 ■ORANGE

 Immeuble Galaxy-Plaza, Rue Dr. Rasetta Andraharo B.P.7754

 TEL : 032-32-32-304 (お客様サービス携帯電話)、 23-609-53 (固定電話) FAX : 23-609-55

 ■Telma Mobile SA

 Alorobia 101 Antananarivo, B.P.13 Bis,
 TEL : 25-427-05 FAX : 22-494-87

 19.インターネット・プロバイダ

 ■MOOV(dts)

 Zone Galaxy, Rue Dr Rasetta Andraharo, B.P.4095 Antananarivo 101

 TEL : 22-203-59 FAX : 22-203-60

 E-mail : dts@dts.mg

 Web : <http://www.dts.mg>

マダガスカル国内最大手。主要な地方都市でもワイヤレスインターネットに接続可能。

 ■BLUELINE

 Lot VR 41 Avenue Lenine, Antanimena, Antananarivo 101

 TEL : 22-618-29 FAX : 22-783-78

 E-mail : info@blueline.mg

 Web : www.blueline.mg

20.郵便局

■中央郵便局 (Paositra Malagasy)

Place de l'Independence, Antaninarenina B.P.555

TEL : 22-284-93/224-45

■外国郵便局 (Colis Postaux)

Tsaralalana, Antananarivo

TEL : 22-330-26

海外への小包の送付、海外からの受け取り専用郵便局。

21.国際宅配サービス会社

■DHL Lot II J 181 F bis Ivandry

営業時間: 8:00 ~ 18:00

日本までの料金(目安): 500gまで: 書類約 230,000Ar, 荷物約 266,000Ar,

500g ~ 1kg: 書類約 329,000Ar, 荷物約 365,000Ar

■MADCOURRIER (UPS)

Z.I.FILATEX Ankadimbahoaka, B.P.8355, 101 Antananarivo

TEL : 22-372-06/ 22-639-45

FAX: 22-698-47

営業時間: 7:30 ~ 18:30

日本までの料金(目安): 500gで 82USドル + 燃料チャージ代

22.コンピューター販売・修理店

■MIC (Madagascar Infomatique Corporation)

Lot III R bis Tsimabazaza Antananarivo 101

TEL : 22-622-08/269-98 FAX : 22-310-35

■A.P.M.A.

Zone Zital, Ankorondrano, B.P.4452

TEL : 22-258-12/351-43 FAX : 22-339-33

■First Info Services

Lot VH 5 Bis Mandialaza Ankadifotsy Antananarivo

TEL : 034-01-143-08

23.教育機関 < 外国人学校 >

■Ecole Primaire Francaise

Ampandrianomby, Ampefiloha, Ambohibao, Analamahitsy の 4 カ所にキャンパスがあり、それぞれ A ~ D と呼ばれている。

TEL : 22-403-32

対象: 6 ~ 11 歳

使用言語: フランス語。入学時に語学テストがある。

■American School of Antananarivo (ASA)

Ivandry

TEL : 22-420-39/534-33 FAX : 22-434-43

対象: 保育園 (Pre-kindergarten)・幼稚園・小学校 ~ 10 歳、中学校 11 ~ 17 歳

使用言語: 英語。入学テストはない。

■Kids Academy

Villa Blanche – Alarobia Enceinte TELMA

TEL : 22-427-39/034-03-000-08

対象年齢: 1 ~ 5 歳 (保育園・幼稚園)

使用言語: 仏語

外国人向け保育園・幼稚園。教師の多くはフランス人で、英語も通じる。フランス人児童が多い。

■La Claire Fontaine

Ambodivoanio : TEL : 22-433-67

Ivandry : TEL : 22-425-57

対象年齢: 幼稚園・小学校・中学校

使用言語: フランス語

使用言語は、フランス語だが教員・児童共にマダガスカル人が多く、どちらかというと現地の上流階級家庭向け。

- Ecole Primaire/Maternelle Francaise
- Ampefiloha TEL:22-232-78
- Ampandrianombv TEL:22-410-90
- Anakamahitsv TEL:22-429-32
- 対象年齢:3~5歳
- 使用言語:フランス語

24.教育関連施設<図書館>

- Tranombokim-Pirenena(国立図書館)
- ホテル・カールトンの隣
- TEL:22-258-72
- 利用時間:8:00~16:30 土日休館
- マダガスカル語、フランス語の書籍が利用できる。

<文化センター>

- Alliance Francaise de Tananarive
- Trano Vaovao Andavamamba
- TEL:22-211-07/208-56(フランス語)FAX:22-225-04
- 利用時間:8:00~18:00、日曜休館
- 仏語のクラス以外に各種イベントも催されている。DELFD/DALFの受験会場。
- Centre Culturel Albert Camus(CCAC)
- 14. Avenue de l'indépendance. Analakely
- TEL:22-213-75(フランス語)FAX:22-213-38/271-92
- 利用時間:8:30~12:15、14:00~18:00 日月休館(図書館は9:00~13:00、14:00~16:30 金曜の午前中と日月休館)
- セミナー・コンサート、展示会など様々な催しが頻繁に行われている。
- Centre Culturel Americain
- 22. Rue RAINITOVO. ANTSAHAVOLA
- TEL:22-202-38/202-39(英語)FAX:22-213-97
- 利用時間:8:00~12:00、14:00~18:00 土日休館
- 英語でのセミナーや図書室もある。TOEFL(PBT)やGREの受験会場。
- Cercle Germano-Malagasy
- Escalier Ranavalona. Immeuble Fanomezantsoa Analakely
- TEL:22-214-42(マダガスカル語、ドイツ語)FAX:22-272-07
- 利用時間:8:00~11:30、14:00~17:30 土日休館

25.スポーツ施設

<ゴルフ>

- Golf du Rova
- PK20 Route de Mahajanga. B.P.464
- TEL:032-04-410-99(携帯電話)

<テニス、フィットネス>

- ACSA(Amicale Culturelle et Sportive)(テニスクラブ)
- 3. Rue Jean Ralaimongo. Ambohidahy
- TEL:22-205-47
- 保健省の正面にあるテニスクラブ。屋外プール、卓球、スカッシュの施設がある。
- Planete Sport(フィットネスクラブ)
- Immeuble Grand Ciel Ankorondrano
- TEL:22-423-16(FAX 兼用)
- フィットネス器具販売も扱っている。
- Mondial Fitness(スポーツ用品店)
- Immeuble CNAPS 67ha

TEL : 22-601-36 FAX : 22-601-36
トレーニングマシン販売。

■DG Sport(フィットネスクラブ)

Durand Gilbert Antanimena

TEL : 22-201-01

■Club Olympique de Tananarive (COT) (乗馬、テニスクラブ)

Route d'Ambohimanga, Sabotsy Namehana (Sabotsy Namehana の町中に入る手前)

TEL : 22-423-78

入会金 1,000,000MGA と会費で水泳、テニス、広い敷地内での乗馬等が楽しめる。各々のレッスンもある。

26.旅行代理店

■Arics

Rue Ravelonery Isoraka B.P.5035

TEL : 22-360-16/18 FAX : 22-360-15

日本人が経営する旅行代理店。

■Madaqascar Services

Lot 1B 176 Antanambao Ilafy

TEL : 24-269-43 FAX : 22-435-50

日本人が経営する旅行代理店。

■Madaqascar Airtours

33, Avenue de l'Independence, Analakely

TEL : 22-319-00 FAX : 22-641-90

■Transcontinents

10, Avenue de l'Independence, B.P.541

TEL : 22-223-98 FAX : 22-283-65

■Silver Wings

39, Rue Rainandriampandry, Ambondrona, B.P.3019

TEL : 22-675-18 ~ 9 FAX : 22-201-79

■Voyages Bourdon

15, Rue Patrice Lumumba, Tsaralalana, B.P.8196

TEL : 22-296-96 FAX : 22-285-64

■Madaqascar Discovery Agency

Lot Y 24 A, Ouest Antanimena, Antananarivo

TEL : 22-351-65 FAX : 22-351-67

■Cortez Expeditions

25, Rue Ny Zafindriandiky, Antanimena, Antananarivo

TEL : 22-219-74 FAX : 22-213-41

JICA 事務所のあるビルの向かいにオフィスがある。

27.輸送会社

■Auximad

18, Rue J. I. Rabearivelo, B.P.1021, Antananarivo

TEL : 22-225-02 FAX : 22-310-98

■SDV Madaqascar (SDV groupe Bollori-SCAC)

Zone Industrielle Forello, Taniombato, B.P.514

■TESSIoT- DEMENAGEMENTS MADAGASCAR

Zone Forello Taniombato, B.P.1530, Antananarivo

TEL : 22-574-10 FAX : 22-574-44

28.自動車学校

■Auto Ecole Tri-H

Rue Andrianary Ratianarivop, Ampasamadinika

TEL : 22-338-88

1日15分の路上運転を10時間、学科を20時間で修了するコースがある。

■Auto Victor

30, Avenur Grandidier, Isoraka

TEL : 22-351-49

Auto Ecole Tri-H 自動車学校と同様のコースがある。

29. 保険会社

■Assurances Ny Havana

Immeuble 67 HA

TEL : 22-267-60 FAX : 22-243-03

■Assurances Ny Aro

B.P.42, Antsahavola, Antananarivo

TEL : 22-201-54 FAX : 22-344-64

■Societe COLINA Madagascar S.A.

Immeuble Villa Pradon, Antanimena, B.P.1118, Antananarivo 101

TEL : 22-228-82 FAX : 22-228-91

JICA 事務所と同じビル内にある。

30. 医療施設

国別医療情報 (<https://libportal.jica.go.jp/fmi/xsl/library/public/data/medical-p.html>) を参照。